

工事区分表（1）（●印がついたものを工事の対象とする。なお、「他」は特記無き限り、別途工事とする。）

区分	棟区分	工 事 項 目	施設整備				東屋	外周道路	遊具	他	備 考	区分	工 事 項 目	施設整備				東屋	外周道路	遊具	他	備 考	区分	工 事 項 目	施設整備				東屋	外周道路	遊具	他	備 考					
			建築	膜	設備	土木								建築	設備	土木	建築								設備	土木												
建築関連	雲の屋根	鉄骨・膜屋根・鉄骨塗装工事		●									外構・造成関連	駐車場（一般・従業員・臨時）、ラウンドアバウト、外周道路縁部のアスファルト舗装			●								その他	スラックライン等備品（ロープを含む）	●											
		軒樋・竖樋工事	●									樋ポラケットは膜工事		コンクリート舗装	●											スラックライン基礎	●											
		基礎工事、地盤改良工事	●									カラー舗装（下層アスファルト舗装を除く）		●										建築設備基礎、自販機基礎		●												
		竖樋の樹への接続	●									雲の屋根下舗装		●										マンホール給水用井戸設置工		●												
		雨水樹の布設			●							遊具プロボーザル範囲の舗装		●										人数カウントシステム構築			●											
		サークルベンチの設置（消火器BOX）	●									上記以外の舗装		●										全体の工事工程の管理・調整		●												
		消火器の設置	●									緑石工				●																						
		自火報 報知設備固定用のH鋼設置、配管用地PL		●								点字誘導ブロック		●																								
		自火報 感知器・報知機・配管の設置			●							駐車場区画線				●											遊具関連	ふわふわドーム	●									
		鉄骨・膜屋根・鉄骨塗装工事		●								駐車場タイヤ止め				●												各遊具						●				
軒樋・竖樋工事	●									水飲み、ウレタンベンチ、かまどスツール、ミストノックカー	●											各遊具基礎							●									
基礎工事、地盤改良工事	●									マンホールトイレ布設（マンホールまで）			●									遊具下部地盤改良							●									
竖樋の樹への接続	●									マンホールトイレスツール	●																											
雨水樹の布設			●							外周フェンス・門扉、ガード、橋梁防護柵、防護柵目隠し、スライドゲート、大排水路沿いフェンス	●																											
ミスト設備配管用地の用意	●									橋梁1（ラウンドアバウト横）			●																									
ミスト設備の設置			●							橋梁2（南側）					●																							
柱サイン固定プレートの用意（柱溶接）		●								南側ハンブ					●																							
柱サインの設置									● サイン工事（施設整備工事）	既設道の駅 南側スロープ	●																											
思いやり駐車場屋根		鉄骨・膜屋根・鉄骨塗装工事		●									ランドアバウト関連	西側緊急道路安全対策				●																				
		軒樋・竖樋工事	●									既存橋梁撤去、防草工				●								防草工の一部は造成工事														
		基礎工事、地盤改良工事	●									国道50号仮設出入口 撤去		●										設置は造成工事														
		竖樋の樹への接続	●									植栽（ハゼの移植を含む）		●																								
		雨水樹の布設			●							舗装、緑石、栗石敷				●																						
		消火器BOX、消火器の設置	●									トラフィックサイン、白線				●																						
		建物工事（躯体、塗装、基礎）	●									電気配線等切り回し				●																						
		外周砂利敷	●									モニュメントサイン照明設置				●																						
		ウレタンベンチ	●									既設サイン移設（基礎共）・撤去				●																						
		授乳室兼多目的個室 椅子								● 別途工事		交通標識、モニュメントサイン（基礎工を除く）										● サイン工事（施設整備工事）																
トイレ棟		突出サイン用下地	●										排水関連	モニュメントサイン基礎	●																							
		突出サイン他 サインの設置								● サイン工事（施設整備工事）	既設サイン改修（移設工を除く）										● サイン工事（施設整備工事）																	
		各洗面の製作（ボウルを含む）、設置	●								家具工事（施設整備工事）	給排水本管取出し工事（引込工事）				●																						
		各洗面の水栓 設置			●							敷地内水道本管工事										● 施主手配工事																
		鏡（家具図に記載のあるものを除く）			●							水道本管指標設置			●																							
		天井裏アッパーライト下地の設置	●									調整池、余水吐き口				●																						
		天井裏アッパーライトの設置			●							各側溝（U字型、スリッド、横断等）				●																						
		ビット用通気管の設置	●									新設消火栓設置、既設消火栓移設				●																						
		建物工事（躯体、塗装、基礎）	●									案内・誘導サイン（基礎工を除く、遊具サインを除く）										● サイン工事（施設整備工事）																
		外周砂利敷	●									案内・誘導サイン基礎		●																								
管棟		マンホールトイレ用テント（備品）			●						機械設備工事（施設整備工事）		サイン関連	遊具案内サイン（基礎工を除く）							●																	
		ビット用通気管の設置	●									遊具案内サイン基礎										●																
		造作カウンター等家具（家具図記載）	●									サイン付きバリアー（思いやりP）（基礎共）		●																								
		椅子、カーテン等特記記載の無い備品								● 別途工事		デジタルサイン、システム設定										● サイン工事（施設整備工事）																
		木造建物工事（躯体、塗装、基礎）					●			木材は茨城県産材を使用する。		サイン支柱、サイン 固定										● サイン工事（施設整備工事）																
		地盤改良工事					●																															
雲のあずまや		鋼製テーブル（基礎を含む）	●											サイン支柱基礎	●																							
		単独木製ベンチ（基礎、脚材を含む）（あずまや図面に記載されたものに限る）					●			一体型ベンチは躯体と捉える					●																							
		エリア内の舗装工事	●													●																						
		あずまや等整備工事の工程管理					●			※1																												

※【凡例】造成施設整備外周道路東屋遊具

・ ・

※1：施設整備工事施工者が作成したマスター工程を基に工事工程の調整を行うこと。

※【凡例】 造成工事、施設整備工事、外周道路整備工事、あずま屋等整備工事、複合遊具等設置工事

工事区分表 (2)

(●印がついたものを本工事の対象とする。なお、「他」は特記無き限り、土木工事もしくは別途工事とし、工事区分表(1)に土木工事の記載がないものは別途工事。)

[illegible]

 株式会社 三橋設計 MITSUHASHI SEKKEI		1級建築士 第350818号 小田嶋 亮	工事名称 道の駅拡張整備 施設整備工事	図面番号 A -003
日付 25.3.21	担当 製図	図面名称 工事区分表(2)	縮尺 A1 ---- A3 ----	

道の駅拡張整備

施設整備工事

設計図

仕 様 書

I 工事概要

1. 工事場所

茨城県筑西市川澄字稲荷宿東1773番、1779番1、1780番1、1781番1、1782番1、1784番1、1786番の一部、1787番の一部、1792番の一部、1793番、1794番、1795番、1851番、1852番2、1852番3 計15筆

2. 敷地面積

31,359.08㎡(事業面積)

3. 工事種目

1. 建物 鉄骨造、木造 平屋建て 計9棟 施工面積：1,685.55㎡
(うち 施設整備工事：鉄骨造、RC造 平屋建て 計7棟 施工面積：1,625.21㎡)
(うち あずまや等整備工事：木造 平屋建て 計2棟 施工面積：60.34㎡)

2. 設備工事 一式

3. 建築外構工事 一式

4. 土木工事 一式

4. 工事範囲

※「3. 工事種目」すべてを工事範囲とする。

※「3. 工事種目」のうち の工事範囲は下記表のとおりとする。ただし、その他の工事種目はすべて今回工事範囲とする。

2 仮設工事	工事範囲すべて
3 土工事	
4 地業工事	
5 鉄筋工事	
6 コンクリート工事	
7 鉄骨工事	
8 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事	
9 防水工事	
10 石工事	
11 タイル工事	
12 木工事	
13 屋根及びとい工事	
14 金属工事	
15 左官工事	
16 建具工事	
17 カーテンウォール工事	
18 塗装工事	
19 内装工事	
20 ユニット及びその他の工事	

II 建築工事仕様（構造関係を除く）

1. 共通仕様

(1) 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）」（最新版）」（以下「仕様」という。）による。

(2) 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。

(3) 請負者は完了検査（中間検査を含む）の検査には、特定行政庁（建築主事等）が求める検査に必要な資料等（報告書等）を用意すること。

2. 特記仕様

(1) 項目は、番号に ○印の付いたものを適用する。

(2) 特記事項は、◎印の付いたものを適用する。
○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
○印と◎印の付いた場合は、ともに適用する。

(3) 特記事項に記載の（ ）内表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。

(4) [G] 印は「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（グリーン購入法）」の特定調達品目を示す。

章

1 一般共通事項

項目

特記事項

① 適用基準等 (1.1.1)

② 用語の定義 (1.1.2)

③ 官公署その他の届出手続等 (1.1.3)

④ 起工式、上棟式に要する費用

⑤ 工事実績情報の登録 (1.1.4)

⑥ 設計図書等の取扱い (1.1.6)

⑦ 別契約の関連工事 (1.1.7)

⑧ 疑義に関する協議等 (1.1.8)

⑨ 設計変更

⑩ 工事費に含まれる費用

⑪ C A D等データの取扱い

⑫ 経年調査の実施

⑬ 監理者の承認・検査

⑭ 実施工程表 (1.2.1)

⑮ 施工計画書 (1.2.2)

⑯ 施工図等 (1.2.3)

⑰ 工事の記録提出書類 (1.2.4)

⑱ 電気保安技術者 (1.3.3)

⑲ 施工条件 (1.3.5)

20 品質計画等 (1.3.3)

㉑ 発生材の処理等 (1.3.11)

㉒ 養生 (1.3.12)

㉓ 後片付け (1.3.13)

㉔ 環境への配慮 (1.4.1)

(1) 受注者は工事の着手に先立ち、又は着手後速やかに実施工程表を作成し、監理者に提出する。監理者は、実施工程表に問題があると認められる場合は、発注者及び受注者にその旨を報告・通知する。

(2) 実施工程表には、以下の内容を記載する。
a. 特記事項（受電予定日、通水予定日、排水予定日、製品検査予定日）を記入）
b. 主要行事（竣工式、上棟式等発注者が要望する行事）を記入）
c. 検査予定日（中間検査を含む官庁検査関係、完成検査関係等を記入）
d. 長期現場休暇
e. 主要工事の工程
f. クリティカルパスルートの明示（ポイントとなる工事の着工・完了予定日を記入）
g. 出来高（金額・比率・ライン）を明記
h. 総合図、施工図、施工計画書などの作成・提出・承認のスケジュール
i. 各種仕上げ材、主要機器、機材の決定スケジュール
j. 機器試運転スケジュール
k. 関連工事の主要な工程
l. その他、監理者が指示する事項
(3) 実施工程表に変更の必要が生じた場合は、関連工事の工程と調整の上、速やかに変更工程表を作成し、監理者に提出する。

(1) 総合施工計画書は、主要工事の施工方法及び品質管理方針、工事全体を通じて受注者が行う工事組織の構成と運用、工事現場の整備と維持、工事請負契約に基づく監理者への対応などについて、本工事の固有の条件に適合した具体的な方策を定める。

(2) 各工種別の施工計画書の品質計画については、設計図書と十分な整合を計り作成する。

(3) 施工要領書は、受注者が機器・材料製造者、専門事業者などと協議の上、施工計画書記載の各項目を実行するための詳細要領を定めたもので、監理者が指示した場合は、これを監理者に提出する。

(1) 設計図書等の定めにより監理者の承認を受ける必要のある施工図等(施工図、現寸図、工作図、製作図その他これらに類するものをいう。)は、その旨を提出日と共に表示し、監理者に提出する。監理者は、(※1週間・2週間・日)を目途に設計図書等の内容に適合しているかを検討し、必要により保留・再検討指示又は修正指示そして再提出を経て、設計図書等の内容に適合していると認められる場合には、受領印を押して返却する。受領印を押して1週間以内に修正または保留に関する監理者からの指示がない場合は、提出された施工図等は監理者の承認を受けたものとする。なお、明らかに監理者の受領印と認められる押印以外は全て無効とする。

(2) 設計図書等の定めにより監理者の承認を受ける必要のある書類、見本等についても(1)を準用する。なお、見本施工等受領押印に達さない場合は、書面等記録による。

(3) 請負契約と別述の監理業務委託契約に施工図の承認権限を監理者に付与することが曖昧または含まれていない場合でも、本特記仕様書により施工図の承認権限は監理者に付与されているとして(1)及び(2)の規定を準用する。

(4) 施工図等を発注者・監理者へ提出の際は、紙面とデータ(PDF形式、CAD形式)を合わせて提出するものとする。

1. 着手前
工事着手に先立ち、敷地及び周辺の道路、建築物、工作物等の現状を撮影する。

2. 工事中
1) 黒板に所定事項(件名・名称・位置・工程・備考・撮影年月日)を明記し、工事の進捗状況を撮影、記録すると共に、特に施工後暗蔵又は埋蔵される部分は、被写体に幅広テープを添え撮影する。
2) 監督員の支持により適宜提出する。(ファイル部数 2 部) ※合わせてデータ提出も行う。
3) 工事報告書(翌月超翌日提出)(ファイル部数 2 部) ※合わせてデータ提出も行う。
工事進捗状況、工事工程表、議事録、工事写真(月末、ドローン等の航空写真を含む。)等提出する。

工事現場におく電気保安技術者は、電気事業法に基づく電気主任技術者の職務を補佐し、電気工作物の保安の業務を行うものとする。
○要 ・不要

下記以外は現場説明書による。
○工事用車両の駐車場所 ※図示 ・
○資機材置き場 ※図示 ・
○建設発生土仮置場 ※図示 ・
○運営しながらの工事となるので騒音・振動等に特に注意すること

・建築基準法に基づく風圧区分等が必要とする場合は次による。
※風速 $V_0 = (\quad 30 \quad) \text{ m/s}$ (平12建造第1454号第2)
※地表粗度区分 ・Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ
・積雪区分 平12建造第1455号 別表 ()

◎現場説明書による ○構外搬出適切な処理 ○場内処理(建設発生土)

既存施設部分、工事目的物の施工済み部分等について、汚損しないよう適切な養生を行う。

(1) 工事現場は常に整理整頓し、清潔に保つなど作業環境の改善、作業現場の美化に努める。

(2) 工事の完成に際しては、工事完成検査時点までに次の換機復旧などを行う。
a. 工事に伴い損傷を生じた既存の施設・工作物・樹木などは、原状に復旧する。
b. 工事目的物の施設又は設備の一部を工事に使用した場合は、設計図書のでめる条件復旧する。

化学物質を放散させる建築材料等
本工事の建物内部に使用する材料等は、設計図書に定める所要の品質及び性能を有するものとし、次の(1)から(5)を満たすものとする。
(1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕建材及び紙板は、ホルムアルデヒドを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。
(2) 保温材、緩衝剤、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。
(3) 接着剤はフタル酸ジ-n-ブチル酸及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑性剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。
(4) 塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。
(5) (1)。(3)及び(4)の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。
また、設計図書に定める「ホルムアルデヒド放散量」は、次のとおりとする。

ホルムアルデヒド放散量 該当
規制対象外 ① JIS及びJASのF☆☆☆☆品
② 建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品
③ 下記表示のあるJAS適合品
a. 接着剤等不使用
b. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用
c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用
d. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用
e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用
f. ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用
第三種 ① JIS及びJASのF☆☆☆☆品
② 建築基準法施行令第20条の3第3項による国土交通大臣認定品

⑲ 材料の品質等 (1.4.2)

⑳ 材料の検査等 (1.4.4)

㉑ 材料の検査に伴う試験 (1.4.5)

㉒ 特別な材料の工法

㉓ 定例打合せ会議

㉔ 技能士 (1.5.2)

㉕ 化学物質の濃度測定 (1.5.9)

本工事に使用する材料は、設計図書に定める所要の品質及び性能を有するものとし、JIS又はJASのマーク表示のない材料及びその製造者等は、次の(1)～(6)の事項を満たすものとする。
(1) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること
(2) 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること
(3) 安定的な供給が可能であること
(4) 法令等で定める許可、認可、認定、免許等を取得していること
(5) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること
(6) 販売、保守等の営業体制が整えられていること
なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関（社）公共建築協会等）が発行する「建築材料・設備機材等品質性能評価事業」の評価書の写しを、監督職員に提出して承認を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督職員の承認を受けた場合は、この限りではない。
また、備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督職員の承認を受ける。
下記に指定する機器・材料・製品は、製作・施工に先立ち監理者の立会い検査を受ける。検査は現場で行うのを原則とするが、現場での検査が不可能な場合は、現場以外での検査を可とする。

建築工事	電気設備工事	空調設備工事	衛生設備工事	その他
○ 免震装置	○ 変電機器	○ 冷凍機	○ 衛生器具	○ 噴水設備
○ 鉄骨	○ 動力制御盤	○ 冷却塔	○ 製缶類	○ 空気源器具設備
○ 杭	○ 分電盤	○ ボイラー		○ 膜屋根
○ コンクリート	○ 端子盤	○ 空調機		○ 3A設備
○ 鉄筋	・ 発電機	・ F C U		
・ プレキャストコンクリート		・ P A C		
○ 石、人道石		○ 製缶類		
・ タイル				
・ カーテンウォール				
○ アルミ製建具				
○ 鋼製建具				
・ ステンレス製建具				
○ 窓具				
○ 昇降機				
・ ゴンドラ				
○ 植栽				
・ その他 ()				

(2) 機器・材料・製品の検査は全て受注者等の検査に合格後、検査記録を提出し、監理者の検査を受ける。監理者の検査は受注者の検査が適正に行われているかの確認の為に行う。
(3) 監理者の検査に必要な資機材・労務などを提供する。

(4) 機器・材料・製品などに対する監理者の検査が現場以外において行われる場合、それに必要な監理者等の立会いに要する費用（交通費・宿泊費の実費）は受注者がこれを負担する。

(1) 機器・材料の試験及び施工検査に伴う試験は、次の場合に行う。
a. 設計図書に定められた場合
b. 試験によらなければ設計図書のでめる品質又は性能・機能に適合することが証明できない場合
c. 石材、じゃうたん等の天然素材
(2) 供試体の製作要領は設計図書のためによる。定めがない場合は監理者の承認を受けた方法による。
(3) 試験を公的試験所又はこれに準ずる試験所で行う場合を除き、試験には監理者の立会いを受ける。但し、予め監理者の指示を受けた場合は、この限りではない。
尚、監理者の立会いに必要な資機材・労務などを提供する。

標仕に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。

※工事の円滑な進行を計るため、工事期間中は定期的に各工事責任者(関連工事を含む)を招集し、打合せを行うものとする。受注者は、打合せ議事録を作成、その都度発注者(担当者)、及び監理者の承認を得るものとする。
1) 現場定例：※毎週 ・適宜 ※総合定例：毎月又は施工主要請時を原則

適用工事種類	技能検定作業
仮設工事	○とび作業
鉄筋工事	○鉄筋組立て作業
コンクリート工事	○型枠工事作業 ・コンクリート圧送工事作業
鉄骨工事	○構造物鉄工作業 ・とび作業
コンクリートブロック	・コンクリートブロック工事作業
・ALCパネル	・エーエルシパネル工事作業
・押出成形セメント板工事	
防水工事	・アスファルト防水工事作業 ・ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・合成ゴムシート防水工事作業 ・塩化ビニルシート防水工事作業 ・セメント系防水工事作業 ・シーリング防水工事作業 ・改質アスファルトシートーチ工法防水工事作業 ・FRP防水工事作業
石工事	○石張り作業
タイル工事	・タイル張り作業
木工事	○大工工事作業
屋根及びとい工事	○内外装板金作業
金属工事	○鋼製下地工事作業 ・内外装板金作業
左官工事	○左官作業
建具工事	○ビル用サッシ施工作業 ○ガラス工事作業 ・自動ドア施工作業
カーテンウォール工事	・金属製カーテンウォール工事作業 ・ビル用サッシ施工作業 ・ガラス工事作業
塗装工事	○建築塗装作業
内装工事	○プラスチック系床仕上げ工事作業 ○カーペット系床仕上げ作業 ○ボード仕上げ工事作業 ○壁装作業
排水工事	○建築配管作業
舗装工事	・溶融ベントハンドマーカー工事作業 ・加熱ベントマシンマーカー工事作業
植栽工事	○造園工事作業

建築工事監理指針 1.5.9 化学物質の濃度測定による。
施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンの濃度を測定し、報告する。
測定はバッチ型採集機器により行う。
着工前の測定 ※行わない ・行う
測定対象室 ・図示 ○ 下記による
測定箇所数 ・図示 ○ 11箇所
報告の様式等については、現場説明書による。

トイレ棟 各室1ヶ所 計7ヶ所
管理棟 各室1ヶ所 計4ヶ所

水切、サッシ、金属廻り MS-2
打継目地、誘発目地 PU-2
タイル PS-2
ALC メーカー標準仕様を遵守

工事名称
道の駅拡張整備 施設整備工事

図面名称
特記仕様書(1)

縮尺
A1 ---
A3 ---

図面番号
A -004

33 定礎等	定礎の設置	※しない	・する	(1.5.11)
	a. 石種	：（花崗岩）	・本磨き	・水磨き
	b. 大きさ	：半紙程度		
34 排出ガス対策型等建設機械	c. 収納ボックス	：銅製、指定彫込文字、収納物（当日の主要新聞、関係者名簿）		
	(1) 本工事において建設機械を使用する場合は、「排出ガス対策型建設機械指定要領（平成3年10月8日付建設省経機発第247号）」に基づき指定された排出ガス対策型建設機械を使用するものとする。			
	(2) 排出ガス対策型建設機械を使用できない場合は、平成7年度建設技術評価制度公募課題「建設機械の排出ガス浄化装置の開発」、またはこれと同等の開発目標で実施された民間開発建設技術の技術審査・証明事業、あるいはこれと同等の開発目標で実施された建設技術審査証明事業により評価された排出ガス浄化装置を装着（黒煙浄化装置付）することで、排出ガス対策型建設機械と同等とみなす。			
35 完成、検査	(3) 上記により難しい場合は、監理者と協議するものとする。			
	(4) 排出ガス対策型建設機械あるいは排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用する場合、現場代理人は施工現場において使用する建設機械の写真撮影を行い、監理者に提出する。			
	※上記建設機械は低騒音・低振動型とする。			
36 完成、検査	(1) 完成（竣工）検査			(1.6.1)
	a. 受注者は、工事の完成に先立って、工事担当者及び会社としての自主検査を行い、その結果を「完成自主検査報告書」として作成し、監理者に提出し確認を受ける。			
	b. 監理者による完成検査は、現場監理担当者検査の実施後、且つ法的検査を受けた後、三橋設計本社及び支社監理部門から派遣する検査担当者により行う。検査の結果については、「監理者検査調査書」として取り纏め、発注者に報告する。			
37 完成、検査	(2) 受注者は、工事の完成に際し、使用材料の仕上り状態について清掃が完了した状態で、原則として全数にわたりに以下の検査を行う。検査結果について報告書を監理者に提出し、監理者の承認を受けた上で監理者の検査を受ける。			
	a. 外装検査：外壁仕上材、建具、ガラス、シーリング、設備器具取付け状態等について目視、打診、嗅覚、聴音、触手などにより、損傷、剝離、汚れ、止め付け不良、不具合その他について検査する。			
	b. 内装検査：各部位について、損傷、剝離、汚れ、納まり不良、色むら、開閉状態、施開閉、止め付け不良、使用上の安全性、サインの視認性その他について検査する。			
38 完成、検査	c. 外構・植栽：風害、排水、耐荷重、敷地境界表示、植込み状況、樹木養生その他について検査する。			
	d. 昇降装置：作動状況・雨水等の排水・使用時の安全性その他について検査する。			
	(3) 全装置について、原則として試運転調整を完了した状態で、以下の検査・試験を行う。又、検査結果について報告書を監理者に提出し、監理者の承認を受けた上で監理者の検査を受ける。			
39 完成、検査	a. 外観検査（出来形検査）：目視・聴音又は手で触るなどにより、各装置が設計図書に示す構造・材料・安全・耐久・保守・衛生などに合致することを確認する。			
	b. 個別性能機能検査：各装置の個別の性能・機能を設計図書と照合し、その適合性を確認する。			
	イ. 機能検査：運転、作動状態での試験に先立ち、通水・通気・通電などの試験を行う。			
40 完成、検査	次に各機器単体の動作試験を行い、運転状態及び各種動作が正常であることを確認する。			
	ロ. 性能検査：各装置の機器単体の性能が、設計図書に定められた流量・圧力・温度・電圧・電流などと合致することを確認する。			
	ハ. 水質検査：飲料水は、完成引渡までに公立の保健所又は試験所に依頼し、水質基準に適合することを確認する。			
41 完成、検査	c. 総合性能機能検査：複数の工種にまたがって性能・機能を発揮する装置について、関連工事の受注者と協議して、総合的な性能機能検査を行い、その適合性を確認する。主な確認項目は次による。			
	イ. 停電・復電総合検査			
	ロ. 防災総合検査			
42 完成、検査	ハ. タンク・水槽関連総合検査（設備工事のみ）			
	ニ. 自動制御総合検査（設備工事のみ）			
	ホ. 総合運転による騒音・振動が許容範囲内であることを確認			
43 完成、検査	ヘ. 完成時の室内環境を測定し、設計図書に定めたとおりであることを確認			
	ト. その他、監理者の指示する検査			
	d. 完成後の性能機能検査			
44 完成、検査	建物の完成時期などにより、工事完成までに確認できない機器能力及び室内環境などについては、完成引渡後1年以内の夏季及び冬季で気象条件などが設計条件に近い日を選び測定し、設計図書に定める性能・機能・室内環境との適合性を確認する。完成引渡後に確認が必要な機器能力・室内環境などの性能機能検査については、完成引継書の一部として性能機能検査の項目と方法、検査スケジュール、検査体制を記載した完成後の性能機能検査計画書を作成し提出する。実施に当たっては、事前に発注者及び監理者の承認を受ける。性能機能検査を実施後、速やかに監理者に報告し、監理者の検査を受ける。			
	(1) 中間検査			
	監理者として、（※2回）の中間検査を実施する。			
45 完成、検査	a. 第1回中間検査（根切工事完了時、又は地中築施工時頃）			
	工事施工者が設計意図を理解し、工事が順調に施工されている事の確認。			
	b. 第2回中間検査（躯体完了後、且つ受電前）			
46 完成、検査	躯体工事の出来具合の確認、品質管理体制の確認及び建物引渡までのスケジュールの確認。			
	(1) 設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承認を受ける。			
	※図示			
47 完成、検査	※総合図 各工事間調整完了後の総合図（設備機器の位置、取合い等を検討できる施工図）提出して監督職員の承認を受ける。 ※平面図1/50 ※展開図（指定室）1/50 ※天井伏図1/50			
	(2) 設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承認を受ける。			
	※図示			
48 完成、検査	※総合図 各工事間調整完了後の総合図（設備機器の位置、取合い等を検討できる施工図）提出して監督職員の承認を受ける。 ※平面図1/50 ※展開図（指定室）1/50 ※天井伏図1/50			
	(3) 設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承認を受ける。			
	※図示			
49 完成、検査	※総合図 各工事間調整完了後の総合図（設備機器の位置、取合い等を検討できる施工図）提出して監督職員の承認を受ける。 ※平面図1/50 ※展開図（指定室）1/50 ※天井伏図1/50			
	(4) 設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承認を受ける。			
	※図示			
50 完成、検査	※総合図 各工事間調整完了後の総合図（設備機器の位置、取合い等を検討できる施工図）提出して監督職員の承認を受ける。 ※平面図1/50 ※展開図（指定室）1/50 ※天井伏図1/50			
	(5) 設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承認を受ける。			
	※図示			
51 完成、検査	※総合図 各工事間調整完了後の総合図（設備機器の位置、取合い等を検討できる施工図）提出して監督職員の承認を受ける。 ※平面図1/50 ※展開図（指定室）1/50 ※天井伏図1/50			
	(6) 設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承認を受ける。			
	※図示			
52 完成、検査	※総合図 各工事間調整完了後の総合図（設備機器の位置、取合い等を検討できる施工図）提出して監督職員の承認を受ける。 ※平面図1/50 ※展開図（指定室）1/50 ※天井伏図1/50			
	(7) 設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承認を受ける。			
	※図示			
53 完成、検査	※総合図 各工事間調整完了後の総合図（設備機器の位置、取合い等を検討できる施工図）提出して監督職員の承認を受ける。 ※平面図1/50 ※展開図（指定室）1/50 ※天井伏図1/50			
	(8) 設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承認を受ける。			
	※図示			
54 完成、検査	※総合図 各工事間調整完了後の総合図（設備機器の位置、取合い等を検討できる施工図）提出して監督職員の承認を受ける。 ※平面図1/50 ※展開図（指定室）1/50 ※天井伏図1/50			
	(9) 設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承認を受ける。			
	※図示			
55 完成、検査	※総合図 各工事間調整完了後の総合図（設備機器の位置、取合い等を検討できる施工図）提出して監督職員の承認を受ける。 ※平面図1/50 ※展開図（指定室）1/50 ※天井伏図1/50			
	(10) 設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承認を受ける。			
	※図示			
56 完成、検査	※総合図 各工事間調整完了後の総合図（設備機器の位置、取合い等を検討できる施工図）提出して監督職員の承認を受ける。 ※平面図1/50 ※展開図（指定室）1/50 ※天井伏図1/50			
	(11) 設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承認を受ける。			
	※図示			
57 完成、検査	※総合図 各工事間調整完了後の総合図（設備機器の位置、取合い等を検討できる施工図）提出して監督職員の承認を受ける。 ※平面図1/50 ※展開図（指定室）1/50 ※天井伏図1/50			
	(12) 設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承認を受ける。			
	※図示			
58 完成、検査	※総合図 各工事間調整完了後の総合図（設備機器の位置、取合い等を検討できる施工図）提出して監督職員の承認を受ける。 ※平面図1/50 ※展開図（指定室）1/50 ※天井伏図1/50			
	(13) 設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承認を受ける。			
	※図示			
59 完成、検査	※総合図 各工事間調整完了後の総合図（設備機器の位置、取合い等を検討できる施工図）提出して監督職員の承認を受ける。 ※平面図1/50 ※展開図（指定室）1/50 ※天井伏図1/50			
	(14) 設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承認を受ける。			
	※図示			
60 完成、検査	※総合図 各工事間調整完了後の総合図（設備機器の位置、取合い等を検討できる施工図）提出して監督職員の承認を受ける。 ※平面図1/50 ※展開図（指定室）1/50 ※天井伏図1/50			
	(15) 設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承認を受ける。			
	※図示			
61 完成、検査	※総合図 各工事間調整完了後の総合図（設備機器の位置、取合い等を検討できる施工図）提出して監督職員の承認を受ける。 ※平面図1/50 ※展開図（指定室）1/50 ※天井伏図1/50			
	(16) 設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承認を受ける。			
	※図示			
62 完成、検査	※総合図 各工事間調整完了後の総合図（設備機器の位置、取合い等を検討できる施工図）提出して監督職員の承認を受ける。 ※平面図1/50 ※展開図（指定室）1/50 ※天井伏図1/50			
	(17) 設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承認を受ける。			
	※図示			
63 完成、検査	※総合図 各工事間調整完了後の総合図（設備機器の位置、取合い等を検討できる施工図）提出して監督職員の承認を受ける。 ※平面図1/50 ※展開図（指定室）1/50 ※天井伏図1/50			
	(18) 設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承認を受ける。			
	※図示			
64 完成、検査	※総合図 各工事間調整完了後の総合図（設備機器の位置、取合い等を検討できる施工図）提出して監督職員の承認を受ける。 ※平面図1/50 ※展開図（指定室）1/50 ※天井伏図1/50			
	(19) 設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承認を受ける。			
	※図示			
65 完成、検査	※総合図 各工事間調整完了後の総合図（設備機器の位置、取合い等を検討できる施工図）提出して監督職員の承認を受ける。 ※平面図1/50 ※展開図（指定室）1/50 ※天井伏図1/50			
	(20) 設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承認を受ける。			
	※図示			
66 完成、検査	※総合図 各工事間調整完了後の総合図（設備機器の位置、取合い等を検討できる施工図）提出して監督職員の承認を受ける。 ※平面図1/50 ※展開図（指定室）1/50 ※天井伏図1/50			
	(21) 設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承認を受ける。			
	※図示			
67 完成、検査	※総合図 各工事間調整完了後の総合図（設備機器の位置、取合い等を検討できる施工図）提出して監督職員の承認を受ける。 ※平面図1/50 ※展開図（指定室）1/50 ※天井伏図1/50			
	(22) 設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承認を受ける。			
	※図示			
68 完成、検査	※総合図 各工事間調整完了後の総合図（設備機器の位置、取合い等を検討できる施工図）提出して監督職員の承認を受ける。 ※平面図1/50 ※展開図（指定室）1/50 ※天井伏図1/50			
	(23) 設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承認を受ける。			
	※図示			
69 完成、検査	※総合図 各工事間調整完了後の総合図（設備機器の位置、取合い等を検討できる施工図）提出して監督職員の承認を受ける。 ※平面図1/50 ※展開図（指定室）1/50 ※天井伏図1/50			
	(24) 設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承認を受ける。			
	※図示			
70 完成、検査	※総合図 各工事間調整完了後の総合図（設備機器の位置、取合い等を検討できる施工図）提出して監督職員の承認を受ける。 ※平面図1/50 ※展開図（指定室）1/50 ※天井伏図1/50			
	(25) 設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承認を受ける。			
	※図示			
71 完成、検査	※総合図 各工事間調整完了後の総合図（設備機器の位置、取合い等を検討できる施工図）提出して監督職員の承認を受ける。 ※平面図1/50 ※展開図（指定室）1/50 ※天井伏図1/50			
	(26) 設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承認を受ける。			
	※図示			
72 完成、検査	※総合図 各工事間調整完了後の総合図（設備機器の位置、取合い等を検討できる施工図）提出して監督職員の承認を受ける。 ※平面図1/50 ※展開図（指定室）1/50 ※天井伏図1/50			
	(27) 設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承認を受ける。			
	※図示			
73 完成、検査	※総合図 各工事間調整完了後の総合図（設備機器の位置、取合い等を検討できる施工図）提出して監督職員の承認を受ける。 ※平面図1/50 ※展開図（指定室）1/50 ※天井伏図1/50			
	(28) 設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承認を受ける。			
	※図示			
74 完成、検査	※総合図 各工事間調整完了後の総合図（設備機器の位置、取合い等を検討できる施工図）提出して監督職員の承認を受ける。 ※平面図1/50 ※展開図（指定室）1/50 ※天井伏図1/50			
	(29) 設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承認を受ける。			
	※図示			
75 完成、検査	※総合図 各工事間調整完了後の総合図（設備機器の位置、取合い等を検討できる施工図）提出して監督職員の承認を受ける。 ※平面図1/50 ※展開図（指定室）1/50 ※天井伏図1/50			
	(30) 設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承認を受ける。			
	※図示			
76 完成、検査	※総合図 各工事間調整完了後の総合図（設備機器の位置、取合い等を検討できる施工図）提出して監督職員の承認を受ける。 ※平面図1/50 ※展開図（指定室）1/50 ※天井伏図1/50			
	(31) 設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承認を受ける。			
	※図示			
77 完成、検査	※総合図 各工事間調整完了後の総合図（設備機器の位置、取合い等を検討できる施工図）提出して監督職員の承認を受ける。 ※平面図1/50 ※展開図（指定室）1/50 ※天井伏図1/50			
	(32) 設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承認を受ける。			
	※図示			
78 完成、検査	※総合図 各工事間調整完了後の総合図（設備機器の位置、取合い等を検討できる施工図）提出して監督職員の承認を受ける。 ※平面図1/50 ※展開図（指定室）1/50 ※天井伏図1/50			
	(33) 設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承認を受ける。			
	※図示			
79 完成、検査	※総合図 各工事間調整完了後の総合図（設備機器の位置、取合い等を検討できる施工図）提出して監督職員の承認を受ける。 ※平面図1/50 ※展開図（指定室）1/50 ※天井伏図1/50			
	(34) 設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承認を受ける。			
	※図示			
80 完成、検査	※総合図 各工事間調整完了後の総合図（設備機器の位置、取合い等を検討できる施工図）提出して監督職員の承認を受ける。 ※平面図1/50 ※展開図（指定室）1/50 ※天井伏図1/50			
	(35) 設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承認を受ける。			
	※図示			
81 完成、検査	※総合図 各工事間調整完了後の総合図（設備機器の位置、取合い等を検討できる施工図）提出して監督職員の承認を受ける。 ※平面図1/50 ※展開図（指定室）1/50 ※天井伏図1/50			
	(36) 設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承認を受ける。			
	※図示			
82 完成、検査	※総合図 各工事間調整完了後の総合図（設備機器の位置、取合い等を検討できる施工図）提出して監督職員の承認を受ける。 ※平面図1/50 ※展開図（指定室）1/50 ※天井伏図1/50			
	(37) 設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承認を受ける。			
	※図示			
83 完成、検査	※総合図			

10	石工工事	天然石 1 石材 2 壁の石張り工法 3 床及び階段の石張り	天然石 施工箇所 種 類 産地 厚 表面仕上 テラゾ 種石の種類 ※大理石 表面仕上げ ※本磨き 形状・寸法 ※図示 外壁石張り 工法 ・外壁湿式工法（※流し筋工法 ・乾式工法 石裏面処理 ・行う（・小口共） 裏打ち処理 ・行う ドレンパイプ ※ステンレスSUS304 内壁石張り 工法 ・内壁干積工法（※あと施工アンカー横筋流し工法 ・あと施工アンカー工法） ・乾式工法 石裏面処理 ・行う（・小口共） 裏打ち処理 ・行う 床石張りの裏面処理 ・行う 階段石張りの裏面処理 ・行う 屋内のワックス掛け ・行う 目地 一般目地 シーリング材 目地位置 一般目地 ・図示 ・適用する ※床面積 30㎡ごと、通路6m程度ごと及び他部材との取り合い部 ・図示	12	木工工事	2 集成材等	表面仕上げの程度 ・A種 ※B種 ・C種 現場搬入時の木材の含水率 ※A種 ・B種 保存処理木材 ・使用する（使用箇所： ） 間伐材等 ・使用する（使用箇所： ） 間伐材等：間伐材、林地残材又は小径木であること。 構造材及び下地材の品質の基準 ※標仕12.2.1(b) (4)による 造作材の材面の品質の基準 ※A種 ・B種 代用樹種を使用しない箇所 （ ） 集成材及び単板積層材のホルムアルデヒド放数量 ※規制対象外 ・第三種 構造用集成材 施工箇所 品 名 強度等級 材面の品質 接着性能 樹種名 寸法 (mm) 間伐材等の適用 構造用単板積層材 施工箇所 接着性能 曲げ性能 樹種名 寸法 (mm) 間伐材等の適用 造作用集成材 施工箇所 樹種名 見付け材面の品質 寸法 (mm) 間伐材等の適用 化粧ばり造作用集成材 施工箇所 心材の樹種名 化粧薄板の樹種名 化粧薄板の厚さ (mm) 見付け材面の品質 寸法 (mm) 間伐材等の適用 単板積層材 施工箇所 表面の品質 防虫処理 寸法 (mm) 間伐材等の適用 間伐材等：間伐材、合板・製材工場から発生する端材等の残材、林地残材又は小径木の体積比割合が10%以上であること。 ※接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする。 ユリア樹脂（メラミン樹脂、メラミン樹脂とホルムアルデヒドの縮合物）又はメラミン樹脂とホルムアルデヒドの縮合物（以下「ユリア樹脂等」という）又はメラミン樹脂とホルムアルデヒドの縮合物とメラミン樹脂とホルムアルデヒドの縮合物との混合物（以下「ユリア樹脂等」という）を含有する接着剤（以下「ユリア樹脂等」という）を使用する。 ※規制対象外 防虫処理 ※ 防蟻処理 ※ 防蟻、防蟻処理剤の種類及び品質 表面処理用木材保存剤（防蟻・防蟻剤）は監督職員の承諾するものとする。 合板のホルムアルデヒド放数量 ※規制対象外 ・第三種 普通合板 施工箇所 厚さ (mm) 表板の樹種名 接着の程度 板面の品質 防虫処理 その他の処理 間伐材等の適用 （床） 5.5 ※1類 広葉樹 ・1等 ※2等 ・する 針葉樹 ※C-D ・しない （壁、天井） ・ラウン ・しな ・1類 ・2類 ・する ・しない ・難燃処理 ・防炎処理 構造用合板 施工箇所 厚さ (mm) 表板の樹種名 接着の程度 等級 板面の品質 防虫処理 その他の処理 間伐材等の適用 （床） 12.0 ・特類 ※1類 ※2級 ※C-D ・ ・しない 天然木化粧合板 施工箇所 厚さ (mm) 化粧板の樹種名 接着の程度 防虫処理 その他の処理 間伐材等の適用 （壁、天井） ・3.2 ・なら ・1類 ・する ※4.2 ・しおじ ・2類 ・しない ・防炎処理 ・6.0 特殊加工化粧合板 施工箇所 厚さ (mm) 化粧加工の方法 表面性能 加工面 接着の程度 防虫処理 その他の処理 間伐材等の適用 （壁、天井） ※4.0 ・オーバーレイ ・F ・表面 ・1類 ・する ・プリント ・W ・両面 ・2類 ・しない ・防炎処理 ・塗装 ・SW 間伐材等：間伐材、合板・製材工場から発生する端材等の残材、林地残材又は小径木の体積比割合が10%以上であること。	13	屋根及びふた工事	① 長尺金属板葺 2 折板葺 ③ とい	屋根葺形式 ※塗装溶融55%アルミニウム亜鉛合金めっき 銅板及び銅帯（GGLCCR-20-AZ150） 別記 屋根葺工法 ※図示 下葺材料 ※アスファルトルーフィング940 形 式 形状 (mm) 材料（規格等） 軒先面戸板 断熱材 耐火性能 ※重ね形 山高（ ） ※あり ※あり ※30分 ・はせ納め形 山ゼツチ ミニウム亜鉛合金 ・なし 種別 ・なし ・かん合形 （ ） めっき鋼板及び銅帯 （GGLCCR-20-AZ150） （ ） 板厚 ※0.6 ・0.8 ・ 厚さ （ ）mm 耐火性能 （ ）時間 ・なし この種類 ※配管用鋼管 ・硬質ポリ塩化ビニル管（・VP ・RF-VP ） ・アルミ押出し形材 ・VP耐火二層管（内種） 鋼管製といの防露巻き ※標仕13.5.2(3)（表13.5.3.4） ※行う（施工箇所 ※標仕13.5.4(1)による ） 防露材のホルムアルデヒド放数量 ※規制対象外 ・第三種 この種の排除 ※あり（図示） ・なし ルーフトレシ 種 類 形状 ・ろく屋根用（・たて形 ・横形） ・バルコニー中継用 ・バルコニー用 ① ステンレスの表面仕上げ 種 類 ※HL程度 ・No.2B程度 ・鏡面 ・ ② アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理 種 別 ・B-1種（無着色） ○B-2種（・ブラウン系 ・ブラック ○ステンカラー） ・ 陽極酸化被膜の着色方法 ※二次電解着色 ・三次電解着色 ③ 鉄鋼の亜鉛めっき 表面処理方法 種 別 ・A種 ・B種 ○C種 ・D種 ・E種 ・F種 4 軽量鉄骨天井下地 野縁等の種類 屋外（・19形 ※25形） 屋内（・19形 ※25形） 屋外の軒天井、ヒロティ天井等 野縁受、吊りボルト、インサートの間隔及び周辺部からの距離 ※図示 野縁の間隔 ※図示 耐風圧性を考慮した補強 天井のふところ高が3mを超える場合の補強 天井下地材における耐震性を考慮した補強 ○行う（補強箇所 ※図示 補強方法 ※図示 ⑤ 軽量鉄骨壁下地 スタッド、ランナーの種類 ※標仕14.5.1(1)による ・図示 スタッドの高さが5mを超える場合 ※図示 ⑥ 金属成形板張り 形 状 製 法 材 種 寸法 (mm) 厚さ (mm) 表面処理 ・スバンドレル形 ・押出し ※アルミニウム製 ・ロール ・ ・パネル形 ※プレス ・ 伸縮調整継手 ※設けない ・設ける（施工箇所は図示） 7 アルミニウム製装木 種 類 最小呼称肉厚 (mm) 表面処理 固定間隔 備 考 ・250形 1.6 ※A-1又は ※固定方法及び間隔は図示による コーナ部、突っ張り部等の役物は本体製造所の仕様による。 ・300形 1.8 B-1種 ・ ・350形 2.0 B-2種 ・ ・100形 ・ ・ ・ 8 手摺及びタラップ 種 類 材料 表面処理 手すり ※ステンレスSUS304 ※鋼 ※HL程度 ・鏡面程度 ・No.2B 亜鉛めっき 外部 ※C種 内部 ※E種 ・ タラップ ※ステンレスSUS304 ※鋼 ※研磨なし 亜鉛めっき 内外部 ※C種 ・	15	左官工事	① モルタル塗り ② 床コンクリート直均し仕上げ 3 セ
----	------	--	---	----	------	-------------------	---	----	----------	--	---	----	------	---

16 建 具 工 事	1 見本の製作等	・特殊な建具の仮組（建具符号： ）（表16.1.4）	⑬ ガラス	板ガラスの種類、厚さ等は建具表による（表16.13.2） ・ガラスブロック（表16.13.5） <table><tr><th>表面形状</th><th>呼び寸法（mm）</th><th>厚さ（mm）</th><th>色 調</th><th>防・耐火性能</th></tr><tr><td>・正方形</td><td>・</td><td>・</td><td>※クリア</td><td>※なし</td></tr><tr><td>・長方形</td><td></td><td></td><td>・</td><td>・あり</td></tr></table>	表面形状	呼び寸法（mm）	厚さ（mm）	色 調	防・耐火性能	・正方形	・	・	※クリア	※なし	・長方形			・	・あり	2 PCカーテンウォール	コンクリートの種類及び品質（表17.3.2） ※標仕17.3.2Iによる ・下表による。ただし、下表以外は標仕17.3.2Iによる。 <table><tr><th>コンクリートの種類</th><th>設計基準強度（Fc）</th><th>所要スランプ（cm）</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table>	コンクリートの種類	設計基準強度（Fc）	所要スランプ（cm）									
	表面形状	呼び寸法（mm）	厚さ（mm）	色 調	防・耐火性能																												
	・正方形	・	・	※クリア	※なし																												
	・長方形			・	・あり																												
	コンクリートの種類	設計基準強度（Fc）	所要スランプ（cm）																														
	2 防犯建物部品	・適用する（適用箇所は建具表による）（表16.1.6）	ガラス留め材（表16.13.2）（表9.6.1） <table><tr><th>建具の種類</th><th>材 種</th></tr><tr><td>アルミニウム製</td><td>※シーリング材 ・ ガasket（FIX部はシーリング材）</td></tr><tr><td>鋼製及び鋼製軽量</td><td>※シーリング材</td></tr><tr><td>ステンレス製</td><td>※シーリング材</td></tr></table> 板ガラスをはめ込む溝の大きさ（表16.13.3） 標仕16.3.3以外のアルミニウム製建具及び板ガラスの場合は（社）日本建築学会 JASS 17 ガラス工事「納まり寸法基準」によるほか、性能値が確認できる資料を監督職員に提出する。	建具の種類	材 種	アルミニウム製	※シーリング材 ・ ガasket（FIX部はシーリング材）	鋼製及び鋼製軽量	※シーリング材	ステンレス製	※シーリング材	取付け用金物の表面処理（鉄鋼の亜鉛めっき）及び材質（表14.2.3）（表14.2.2） <table><tr><th>金物種類及び部位</th><th>内 部</th><th>外 部</th></tr><tr><td>PC板打込み金物</td><td>※E種 ・</td><td>※A種 ・</td></tr><tr><td>PC板打込み取付けボルト</td><td>※E種 ・</td><td>※ステンレスボルト</td></tr><tr><td>二次ファスナー</td><td>※E種 ・</td><td>※A種 ・</td></tr><tr><td>取付けボルト</td><td>※E種 ・</td><td>※A種 ・</td></tr><tr><td>レベル調整ボルト</td><td>※E種 ・</td><td>※A種 ・</td></tr><tr><td></td><td>・</td><td>・</td></tr></table> 上記以外はカーテンウォール製作所の仕様による。	金物種類及び部位	内 部	外 部	PC板打込み金物	※E種 ・	※A種 ・	PC板打込み取付けボルト	※E種 ・	※ステンレスボルト	二次ファスナー	※E種 ・	※A種 ・	取付けボルト	※E種 ・	※A種 ・	レベル調整ボルト	※E種 ・	※A種 ・		・	・
	建具の種類	材 種																															
	アルミニウム製	※シーリング材 ・ ガasket（FIX部はシーリング材）																															
	鋼製及び鋼製軽量	※シーリング材																															
ステンレス製	※シーリング材																																
金物種類及び部位	内 部	外 部																															
PC板打込み金物	※E種 ・	※A種 ・																															
PC板打込み取付けボルト	※E種 ・	※ステンレスボルト																															
二次ファスナー	※E種 ・	※A種 ・																															
取付けボルト	※E種 ・	※A種 ・																															
レベル調整ボルト	※E種 ・	※A種 ・																															
	・	・																															
③ アルミニウム製建具	性能等級等（表16.2.2）（表16.2.1） <table><tr><th>種 別</th><th>耐風圧性</th><th>気密性</th><th>水密性</th><th>枠見込み（mm）</th><th>施工箇所</th></tr><tr><td>・A種</td><td>S-4</td><td>※A-3</td><td>※W-4</td><td>※70</td><td>※図示</td></tr><tr><td>・B種</td><td>S-5</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td></td></tr><tr><td>・C種</td><td>S-6</td><td>A-4</td><td>W-5</td><td>100</td><td></td></tr></table> 防音ドアセット、防音サッシ ・ 適用する 遮音性の等級（ ） 断熱ドアセット、断熱サッシ[G] ・ 適用する 断熱性の等級（ ） 耐震ドアセット ・ 適用する 面内変形追随性の等級（ ）（表16.2.4）（表14.2.1） 表面処理 外部に面する建具 ※B-1種 ◎B-2種（・ブラウン系 ・ ブラック ◎ステンカラー） 屋内建具 ※C-1種 ◎C-2種（・ブラウン系 ・ ブラック ◎ステンカラー）	種 別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み（mm）	施工箇所	・A種	S-4	※A-3	※W-4	※70	※図示	・B種	S-5	・	・	・		・C種	S-6	A-4	W-5	100		鉄筋の種類 ※SD295A ・							
種 別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み（mm）	施工箇所																												
・A種	S-4	※A-3	※W-4	※70	※図示																												
・B種	S-5	・	・	・																													
・C種	S-6	A-4	W-5	100																													
④ 鋼製建具	網戸 防虫網の材質 ※合成樹脂製 ・ パンチングパネル ・ ステンレス製（SUS316） 形式 ※外部可動式 ・ 固定式 ・ 内部可動式	ガラス用フィルム（内張り用） <table><tr><th>用途による区分</th><th>記 号</th></tr><tr><td>・ガラス飛散防止フィルム</td><td>※GS-A-B</td></tr><tr><td>・日射調整フィルム/ガラス飛散防止フィルム</td><td>・SC-A/GS-A-B ・ SC-B/GS-A-B ・</td></tr><tr><td>・ガラス貫通防止フィルム</td><td>※SF-A</td></tr><tr><td>・日射調整フィルム/ガラス貫通防止フィルム</td><td>・SC-A/SF-A ・ SC-B/SF-A ・</td></tr></table> 品質 JIS A 5759 による	用途による区分	記 号	・ガラス飛散防止フィルム	※GS-A-B	・日射調整フィルム/ガラス飛散防止フィルム	・SC-A/GS-A-B ・ SC-B/GS-A-B ・	・ガラス貫通防止フィルム	※SF-A	・日射調整フィルム/ガラス貫通防止フィルム	・SC-A/SF-A ・ SC-B/SF-A ・	耐火目地材 ・ 適用する 施工箇所 ※図示 ・ 断熱材[G] ※適用しない ・適用する 種類（ ）厚さ（ ）mm 施工箇所 ※図示 ・ 製品の寸法許容差 ※標仕表17.3.1Iによる（表17.3.3）（表17.3.1） ・製作所標準製作規定寸法許容差による 表面仕上げ（ ）（表17.3.3）																				
用途による区分	記 号																																
・ガラス飛散防止フィルム	※GS-A-B																																
・日射調整フィルム/ガラス飛散防止フィルム	・SC-A/GS-A-B ・ SC-B/GS-A-B ・																																
・ガラス貫通防止フィルム	※SF-A																																
・日射調整フィルム/ガラス貫通防止フィルム	・SC-A/SF-A ・ SC-B/SF-A ・																																
⑤ 鋼製軽量建具	簡易気密型ドアセットの適用は建具表による（表16.4.2） 開き戸の1枚の戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2,400mmを超える場合の鋼板類の厚さ ※図示（表16.4.4）	シーリング（表9.6.2）（表17.3.2）（表9.6.1） 下記以外は標仕表9.6.1Iによる <table><tr><th>施工箇所</th><th colspan="3">シーリング材の種類</th></tr><tr><td></td><th>記 号</th><th>主成分による区分</th><th>耐久性による区分</th></tr><tr><td>カーテンウォール板間目地</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	施工箇所	シーリング材の種類				記 号	主成分による区分	耐久性による区分	カーテンウォール板間目地												耐風圧性（表17.3.2） ・適用する 施工箇所 ※図示 ・ 断熱材[G] ※適用しない ・適用する 種類（ ）厚さ（ ）mm 施工箇所 ※図示 ・ 製品の寸法許容差 ※標仕表17.3.1Iによる（表17.3.3）（表17.3.1） ・製作所標準製作規定寸法許容差による 表面仕上げ（ ）（表17.3.3）										
施工箇所	シーリング材の種類																																
	記 号	主成分による区分	耐久性による区分																														
カーテンウォール板間目地																																	
6 ステンレス製建具	簡易気密型ドアセットの適用は建具表による（表16.3.2）（表16.3.1） 外部に面する建具の耐風圧性の適用は建具表による（表16.3.2）（表16.2.1）	カーテンウォール（表17.2.2） <table><tr><th>種 類</th><th>規格等</th></tr><tr><td>※アルミニウム製</td><td>※標仕16.2.3のアルミニウム製建具の材料による</td></tr><tr><td>・</td><td>・</td></tr></table> カーテンウォール方式 ・方立方式 ・バックマリオン方式（・単純2辺支持構法 ・SSG構法） ・スバンドレル方式 ・パネル方式 ・小型パネル組合せ方式（・ノックダウン方式 ・ユニット方式）	種 類	規格等	※アルミニウム製	※標仕16.2.3のアルミニウム製建具の材料による	・	・	耐風圧性（表17.1.3） 性能値 ※建築基準法施行令第82条の4及び平成12年建設省告示1458号に基づく計算値に 対して安全であること。 ・正圧（ ）N/m ² 以上及び負圧（ ）N/m ² 以上に対して安全であること。																								
種 類	規格等																																
※アルミニウム製	※標仕16.2.3のアルミニウム製建具の材料による																																
・	・																																
7 木製建具	ステンレス（表16.5.3） <table><tr><th>施工箇所</th><th>鋼板の種類（JIS G 4305）</th></tr><tr><td>屋 外</td><td>※SUS304 又は SUS430J1L ・</td></tr><tr><td>屋 内</td><td>※SUS430 ・ SUS304 又は SUS430J1L</td></tr></table> 表面仕上げ ※HL ・ 鏡面 ・ 曲げ加工 ※普通曲げ ・ 角出し曲げ（補強あり）（表16.5.5） かまち戸の樹種 かまち（ ） 鏡板（ ）（表16.6.2） ふすまの上張り（表16.6.3） ※新鳥の子又はビニル紙程度（押入等の裏面は除く） ・ 鳥の子 （表16.6.9） ふすまの縁の仕上げ ・ 塗り縁 ・ 生地縁（・素地 ・ ウレタンクレーヤー塗装） 建物内部の木製建具に使用する表面材（合板）及び接着剤のホルムアルデヒド放散量（表16.6.2） ※規制対象外 ・ 第三種	施工箇所	鋼板の種類（JIS G 4305）	屋 外	※SUS304 又は SUS430J1L ・	屋 内	※SUS430 ・ SUS304 又は SUS430J1L	耐風圧性（表17.1.3） 性能値 ※建築基準法施行令第82条の4及び平成12年建設省告示1458号に基づく計算値に 対して安全であること。 ・正圧（ ）N/m ² 以上及び負圧（ ）N/m ² 以上に対して安全であること。																									
施工箇所	鋼板の種類（JIS G 4305）																																
屋 外	※SUS304 又は SUS430J1L ・																																
屋 内	※SUS430 ・ SUS304 又は SUS430J1L																																
⑧ 建具用金物	鍵 マスターキー ※製作する ・ 製作しない 鍵箱 市販品 形式 ◎30組用 ・ 60組用 ・ 120組用	耐風圧性（表17.1.3） 性能値 ※建築基準法施行令第82条の4及び平成12年建設省告示1458号に基づく計算値に 対して安全であること。 ・正圧（ ）N/m ² 以上及び負圧（ ）N/m ² 以上に対して安全であること。	⑨ 床用塗料塗り	材質 ウレタン樹脂系塗料（※標準色 ◎指定色 ） 仕上種別 ※平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ 塗布量 プライマー塗りのうえ主剤2回塗りとし、総塗布量は0.5kg/m ² 以上とする。																													
9 自動ドア開閉装置	・凍結防止措置（適用箇所は建具表による）（表16.8.3）	耐風圧性（表17.1.3） 性能値 ※建築基準法施行令第82条の4及び平成12年建設省告示1458号に基づく計算値に 対して安全であること。 ・正圧（ ）N/m ² 以上及び負圧（ ）N/m ² 以上に対して安全であること。	⑩ 防塵用塗料塗り	材質 水性アクリル系樹脂塗料（※標準色 ◎指定色 ） 仕上種別 コーティング（ローラーばけ塗り） 塗布量 主剤2回塗りとし、総塗布量は0.25kg/m ² 以上とする。																													
10 自閉式上吊り引戸装置	材料 ※ステンレス鋼板（SUS304、SUS430J1L、SUS430）、アルミニウム製等防錆性能を有するもの（表16.9.2） ・製造所標準仕様による 性能 ※標仕表16.9.1Iによる（表16.9.3）（表16.9.1） ・製造所標準仕様による	耐風圧性（表17.1.3） 性能値 ※建築基準法施行令第82条の4及び平成12年建設省告示1458号に基づく計算値に 対して安全であること。 ・正圧（ ）N/m ² 以上及び負圧（ ）N/m ² 以上に対して安全であること。																															
11 重量シャッター	シャッターの種類 ・一般重量シャッター 耐風圧強度（ ）N/m ² ・外壁用防火シャッター 耐風圧強度（ ）N/m ² ・屋内用防火シャッター ・屋内用防煙シャッター	耐風圧性（表17.1.3） 性能値 ※建築基準法施行令第82条の4及び平成12年建設省告示1458号に基づく計算値に 対して安全であること。 ・正圧（ ）N/m ² 以上及び負圧（ ）N/m ² 以上に対して安全であること。																															
12 軽量シャッター	開閉機能 ※上部電動式（手動併用） ・ 上部手動式（表16.10.2）（表16.10.1） 危害防止機構 ※障害物感知装置（自動閉鎖型）（表16.10.2） 一般重量シャッターのシャッターケース ※設ける ・ 設けない 開閉形式 ※手動式 ・ 上部電動式（手動併用）（表16.11.2）（表16.11.1） スラット 材質 ※JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）（表16.11.3） 又はJIS G 3318（塗装溶融亜鉛—5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯） ・ 形状 ※インターロッキング形 ・ オーバーラッピング形（表16.11.4） ガイドレール等 ※鋼板製 ・ ステンレス製SUS304（厚さ1.5mm）（表16.11.2） 耐風圧強度（ ）N/m ²	耐風圧性（表17.1.3） 性能値 ※建築基準法施行令第82条の4及び平成12年建設省告示1458号に基づく計算値に 対して安全であること。 ・正圧（ ）N/m ² 以上及び負圧（ ）N/m ² 以上に対して安全であること。																															
13 オーバーヘッドドア	（表16.12.2.3） <table><tr><th>セクション材料</th><th>開閉方式</th><th>収納形式</th><th>ガイドレールの材質</th></tr><tr><td>※スチールタイプ</td><td>※バランス式</td><td>・スタンダード形</td><td>※溶融亜鉛めっき鋼板</td></tr><tr><td>・アルミニウムタイプ</td><td>・チェーン式</td><td>・ローヘッド形</td><td>・ステンレス鋼板</td></tr><tr><td>・ファイバークラスタイプ</td><td>・電動式</td><td>・ハイリフト形</td><td>（SUS304、SUS430J1L）</td></tr><tr><td></td><td></td><td>・パーチカル形</td><td></td></tr></table> 耐風圧性能（ ）Pa（表16.12.2）	セクション材料	開閉方式	収納形式	ガイドレールの材質	※スチールタイプ	※バランス式	・スタンダード形	※溶融亜鉛めっき鋼板	・アルミニウムタイプ	・チェーン式	・ローヘッド形	・ステンレス鋼板	・ファイバークラスタイプ	・電動式	・ハイリフト形	（SUS304、SUS430J1L）			・パーチカル形		耐風圧性（表17.1.3） 性能値 ※建築基準法施行令第82条の4及び平成12年建設省告示1458号に基づく計算値に 対して安全であること。 ・正圧（ ）N/m ² 以上及び負圧（ ）N/m ² 以上に対して安全であること。											
セクション材料	開閉方式	収納形式	ガイドレールの材質																														
※スチールタイプ	※バランス式	・スタンダード形	※溶融亜鉛めっき鋼板																														
・アルミニウムタイプ	・チェーン式	・ローヘッド形	・ステンレス鋼板																														
・ファイバークラスタイプ	・電動式	・ハイリフト形	（SUS304、SUS430J1L）																														
		・パーチカル形																															

				 株式会社 三橋設計 MITSUHASHI SEKKEI	1級建築士 第350818号 小田嶋 亮	工事名称 道の駅拡張整備 施設整備工事	図面番号 A --- A3 ---
				日付 25.3.21	担当 製図	特記仕様書(4)	A -007

ユニット及びその他の工事	12	ロールスクリーン	(20. 2. 13)					
			材 種	操作方式	遮光性能	寸法 (mm)	施工箇所	備 考
			※ポリエステル ・ 綿 ・	・ 電動式 ・ スプリング式 ・ チェーン式	・ 1級 ・ 2級 ・ 3級 ・	・ 図示 ・		防火性能 ※あり
	⑬	カーテン	(20. 2. 14)					
			形 式	開閉操作	ひだの種類		施工箇所	備 考
			○シングル ・ ダブル	○片引き ・ 引分け ○手引き	・ 電動 ・ ひも引き ○手引き	・ フランスひだ ・ 箱ひだ・つまひだ ○ブレンひだ・片ひだ	図示	
								・ (略幕)
		⑭	カーテンレール	(20. 2. 14)				
		材種	※アルミニウム製		・ ステンレス製			
		形式	○片引き		・ 引分け (※暗幕用は300mm以上の召合せの重ね掛けとする)			
		形状	○C形		・ D形 ・ 1形			
	⑮	ブラインドボックス及び カーテンボックス	・ 市販品 (アルミニウム製 押出形材) 溝幅×深さ (mm) ・ 90×150 ※120×80 ・ 120×150 ・ 150×80 ・ 図示 表面処理 ※B-1 ・ B-2 (※ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー) ○図示					
	16	天井点検口						
			材 種	寸 法	形 式		外 枠	内 枠
			※アルミニウム製 ・	・ 450×450 ・ 600×600 ・	・ 一般形 ・ 密閉形	・ 屋内外用 ・ 屋内用	・ 額縁タイプ ・ 目地タイプ	・ 額縁タイプ ・ 目地タイプ
	⑰	床点検口						
			材 種	寸 法	形 式			
			※アルミニウム製 ○ステンレス製 ・ 鋼製 ・ 鋳鉄製	・ 450×450 ○600×600 ・	・ 一般形 ○密閉形	○屋内外用 ・ 屋内用	・ 張物用 ・ 充填用 ○張物、充填兼用	
	18	防煙垂れ壁	・ 固定式 (別記)					
			材 質	厚さ (mm)	高さ (mm)	備 考		
			※網入り磨き板ガラス ・ 網入り磨き板ガラス	※6. 8 ・	※500 ・	アルミ製枠付き		
			・ 可動式					
			種 類	材 質	高さ (mm)	備 考		
			・ 垂直降下式 (巻取り型)	※不燃布 (不燃認定品)	※500 ・ 800 ・	ガイドレール ※固定式 (壁埋込み型) ・ 可動式 (天井収納型)		
			・ 回転降下式	鋼板製又はアルミ製	※500 ・ 800 ・	表面仕上げ ※天井材張り ・		
			降下機構 煙感知連動及び手動開放装置 (埋込み型)					
	⑱	視覚障害者用 床タイル (誘導用及び 注意喚起用床材)	(19. 2. 2)					
			施工箇所	種 類		寸法 (mm)	厚さ (mm)	
			屋内	※塩化ビニル製		※300×300	・	※7. 0
				・ レジンコンクリート製		※300×300	・	
				・ 磁器質タイル		※300×300		
			屋外	※レジンコンクリート製		300×300		※30
				○磁器質平板ブロック		300×300		
			ブロックパターンはJIS T 9251による					
	20	くつふきマット						
			材 種	受 枠		備 考		
			・ 塩化ビニル又はゴム製 ・ 硬質アルミニウム合金製 ・ ステンレス鋼 (SUS304) 製 ・	・ ステンレス鋼 (SUS304) ・ 硬質アルミニウム合金 ・				
	21	流し台ユニット						
			種 類	寸法 (L= mm)	適用内容		規格・品質等	
			・ 流し台	※1200	・ 1500	・ 1800	トラップ付き	※優良住宅部品
			・ コンロ台	※600	・ 700	・	バックガード ※あり	・
			・ 吊戸棚	※1200	・ 900	・ 600		
			・ 水切棚	※1200	・ 900		ステンレス製 ※1段式	※市販品
	⑳	洗面カウンター	材種 ・ メラミン樹脂化粧板張り (心材：MDF) ○人工大理石 奥行 (mm) ・ 約450 ・ 約600 ※図面による					
	㉑	収納家具	材質 ・ 形状・寸法 ※図示 合板、集成材、MDF、パーティクルボード類のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・ 第三種 (12. 2. 2) (19. 7. 2)					
	24	鋼製書架及び物品棚						
			種 類	規格等			耐荷量による種類	
			・ 鋼製書架	JIS S 1039による			・ 1種 ・ 2種 ・ 3種	
			・ 鋼製物品棚				・ 4種 ・ 5種 ・ 6種	・
	25	屋内掲示板	枠の材質 ※アルミニウム製 表面の材質 ※塩ビ発泡シート張り ・					
	26	屋外掲示板	照明器具 ※あり ・ なし 施設 ※あり ・ なし					

27 耐震スリット

方 向	タイプ	耐火性能	防水性能
・垂直方向	※完全（全貫通型）スリット	・耐火型	・あり
・水平方向	・	・非耐火型	・なし

目 地	内 壁	外 壁
目地材	シーリング材（見え掛りのみ）	シーリング材（内外共）
目地寸法（mm）	※幅20×深さ10	※幅20×深さ10

28 エキスパンション
・ジョイント金物

材質

・アルミニウム

・ステンレス

クリアランス（mm）

・50

・100

・150

・200

・250

耐火性能

・あり（

）

・なし

防水型

※外部 適用する

※内部 適用しない

29 止水版

形式

・据置き式

・壁張り式

・差込み式

材質

30 旗竿

材 質	形 式	地上高さ（m）	操作方法	固定方法
※アルミニウム合金製	※テーパー型 ・同一断面型	・6 ・8 ・10 ・12	※ハンドル式 ・ロープ式	・埋込み式 ・ベース式 ・バンド式

31 旗竿受金物

材種

※ステンレス製（SUS304）

・

⑳ 車止め支柱

形 式	材 種	柱径・肉厚（mm）	高さ（mm）	備 考
・上下式鎮内蔵型	・ステンレス製	・φ114.3 t=2.5	・GL+700	
・標準品	・	・	・	
・スプリング式	・	・	・	
・図示	・巖石	・φ400	・H370	

㉑ フェンス

種類

・ビニル被覆エキスパンドフェンス ※図面による

・樹脂塗装メッシュフェンス

・鋼管フェンス

34 敷地境界石標

種類

※コンクリートブロック製（市販品）

・花こう岩類（文字記号等入り）

設置方法

根切り底を突き締めたうえ、厚さ60mmの砂利地業を行い、コンクリートで根巻きして建て込む。建込みは監督職員の見合いのものを行う。

コンクリートの割合（容積比）セメント1：砂2：砂利4程度

※設備工事

・ベビーシート

・ベビーチェア

・バリアフリー手摺

1 排水管

排水管用材料

材 種	管の種類	管形状（接合方法）
※透心力鉄筋コンクリート管	※外圧管（※1種 ・2種）	・B形（ゴム接合）
・硬質ポリ塩化ビニル管	※VP ・RS-VU G	・

車道部の排水管の敷設

※図示

・砂基礎（地業厚さ20cm以上 材料 山砂の類）

2 錆製ふた

種 類	適用荷重（安全荷重（kN））	鍵
・水封形	・T-2用（5）	・あり
・簡易密閉形（パッキン式）	・T-6用（15）	・なし
・密閉形（テーパー・パッキン式）	・T-20用（50）	
・中ふた付き密閉形（テーパー・パッキン式）	・	

3 グレーチング

種 類	形 式	用 途	適用荷重	メインバーピッチ	上面形状
・鋼製	※受枠付き	・溝ふた（横断用）	・歩行用	※細目	※凹凸形
・ステンレス製	・	・溝ふた（縦溝用）	・T-2用	※普通目	※平形
	・ボトル固定	・樹ふた用	・T-6用	・細目	・凹凸形
	※なし	・かさ上げ用	・T-14用 ・T-20用		

4 埋戻し土

種類

※設備工事特記による※

（21.2.3）（表3.2.1）

排水管

排水管用材料

21.2.1

表21.2.1

排水管

管の種類

管形状 (接合方法)

材 種

※遠心力鉄筋コンクリート管

※外圧管 (※1種・2種)

・B形 (ゴム接合)

・硬質ポリ塩化ビニル管

※VP・VU

・RS-VU

21.3.1

21.3.3

車道部の排水管の敷設

※図示

・砂基礎 (地業厚さ20cm以上 材料 山砂の類)

21.3.1

21.3.3

2 鉄鉄敷ふた

21.2.2

種 類

適用荷重 (安全荷重 (kN))

壁

・水封形

・T- 2用 (5)

・あり

・簡易密閉形 (パッキン式)

・T- 6用 (15)

・なし

・密閉形 (テーパー・パッキン式)

・T-20用 (50)

・中ふた付き密閉形 (テーパー・パッキン式)

21.2.2

3 グレーチング

21.2.2

種 類

形 式

用 途

適用荷重

メインパ
ビッチ

上面形状

・鋼製

※受枠付き

・溝ふた (横断用)

・歩行用

※細目

※凹凸形

・ステンレス製

・溝ふた (側溝用)

・T-2用

※普通目

※平行

・ボルト固定

・樹ふた用

・T-6用

・細目

・凹凸形

※なし

・かさ上げ用

・T-14用

・20用

※設備工事特記による※

21.2.3

表3.2.1

4 埋戻し土

種別

※設備工事特記による※

22 舗装工事	① 盛土に用いる材料	種別 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土
2 遮断層及び凍上抑制層の材料	・遮断層 ・凍上抑制層	※川砂、海砂又は良質な山砂 厚さは図示 ※再生クラッシャーラン ・クラッシャーラン ・切込砂利 ・砂 厚さは図示
3 路床安定処理	※添加材料による安定処理	種類 ・普通ポルトランドセメント ・石灰灰 () ・添加量 () kg/m ³ (目標CBR ※5以上)
④ 路床土の支持力比 (CBR) 試験	※行う	②締め固めた土 ・乱さない土
5 路床締固め度の試験	※行う	
6 砂の粒度試験	※行う	
⑦ 路盤材料	※再生クラッシャーラン (RC-40) ・クラッシャーラン鋼製スラグ (SS-40) ・クラッシャーラン (C-40) ・透水性アスファルト舗装に用いる場合は透水性の高いもの	⑧ ・フライッシュセメントB種 ・ポスグル ・ポスグルセメントB種
8 路盤の締固め度試験	※行う	
9 アスファルト舗装 ※土木工事	車道部の基層 アスファルト 加熱アスファルト混合物の区分 表層 基層	※なし ・あり ※再生アスファルト ・ストレータアスファルト ※密粒度アスファルト混合物 (13) ・細粒度アスファルト混合物 (13F) ※密粒度アスファルト混合物 (13) ・細粒度ギャップアスファルト混合物 (13F) ※一般地域 ・寒冷地域 ※密粒度アスファルト混合物 (13) ・細粒度アスファルト混合物 (13F) ※密粒度アスファルト混合物 (20)
⑩ コンクリート舗装	シールコート アスファルト混合物等の抽出試験	※行わない ・行う (施工範囲) ※行わない ・行う
⑪ カラー舗装	早強セメント 注入目地材料 溶接金網 厚さ試験	※使用しない ・使用する ※低弾性タイプ ・高弾性タイプ ※あり ・なし ※行わない ・行う
12 透水性 アスファルト舗装	アスファルト混合物の抽出試験	※行わない ・行う
13 排水性 アスファルト舗装	アスファルト混合物 アスファルト混合物の抽出試験	・ポリマー改質アスファルトⅠ型 ・ポリマー改質アスファルトⅡ型 ※行わない ・行う
14 ブロック系舗装	・コンクリート平板舗装 (コンクリート平板はJIS A 5371の平板) ※普通平板 (N) ・保水性平板 (M) ・透水性平板 (P)	(22. 9. 2. 3) 寸法 (mm) ※300角 ・ ※60 ・ 厚さ (mm) ※60 ・ ※砂 ・モルタル
	・インターロッキングブロック舗装 (インターロッキングブロックはJIS A 5371のインターロッキングブロック) ※普通ブロック (N) ・透水性ブロック (P) ・保水性ブロック (M) ・誘導、注意喚起用ブロック ・植生用ブロック	厚さ (mm) ※80 ・歩道部 ※60 ・ ※標準品 ・ 黄色系とする 孔及び/又は凹を設ける
	・鋪石舗装 (石材はJIS A 5003の2等品) ※小鋪石 (花こう岩) ・	(22. 9. 2. 3) 厚さ (mm) ※80～100 ・ ※図面による ※コンクリート舗装 ・アスファルト舗装
⑬ 砂利敷き	種別	A種 ・B種 ④図面による
16 路面標示用塗料 ※土木工事	JIS K 5665 (路面標示用塗料) による	種類 ・1種 ・2種 ※3種1号
	施工 常温 加熱 溶融	適用 液状 ・ 粉体状
	色 ※白 ・	塗布幅 (mm) ※150 ・
	塗布厚さ (mm) ※1. 0 ・	揮発性有機溶剤の含有率 5%以下

23 植栽基盤整備	芝及び地被類	適用 ※行う ・行わない	有効土層の厚さ (cm) ※20 ・	工 法 ※B種 ・	整備範囲 ※植栽範囲 ④図示
	樹木	樹木の樹高 (m) ・12以上 ・7以上～12未満 ・3以上～7未満 ・3未満	有効土層の厚さ (cm) ※100 ・ ※80 ・ ※60 ・ ※50 ・	工 法 ※A種 ・B種 ・C種 ・D種	整備範囲 ・葉張りの範囲 ただし、低木は植栽範囲 ④図示
	工法D種以外の工法で、現状地盤高と計画地盤高が同一でない場合は、計画地盤高から有効土層とする。ただし、計画地盤高が現状地盤高より高い場合は、計画地盤高まで補込み用土で盛土を行う。				
	・植込み用土	・現場発生土の良質土 ・客土 (・黒土 ・真砂土)	④ 図示		(23. 2. 3)
3 土壌改良材	※適用する 施工箇所	※植栽範囲 ・図示			(23. 2. 3. 4)
	・バーク堆肥 有機物の含有率 (乾物) 炭素窒素比 [C/N比] 陽イオン交換容量 [CEC] (乾物) 水素イオン濃度 [pH] 水分 幼植物試験の結果 窒素含量 [N] (現物) りん酸含量 [P ₂ O ₅] (現物) 加里含量 [K ₂ O] (現物)	・70%以上 ・35以下 ・70meq/100g以上 ・5. 5～7. 5 ・55～65% ・生育障害その他異常が認められない ・0. 5%以上 ・0. 2%以上 ・0. 1%以上			
	・下水汚泥コンポスト 「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」の別表第一の基準に適合する原料を使用したもので、植栽試験の調査の結果、害が認められないものとする。	有機物の含有率 (乾物) 炭素窒素比 [C/N比] 水素イオン濃度 [pH] 水分 窒素含量 [N] (現物) りん酸含量 [P ₂ O ₅] (現物) アルカリ分 (現物)	・35%以上 ・20以下 ・8. 5以下 ・50%以下 ・0. 8%以上 ・1. 0%以上 ・15%以上 (ただし、土壌の酸度を矯正する目的で使用する場合はこの限りではない)		
④ 支柱材	※杉、ひのき又はから松 (皮はぎもの、間伐材) 防蝕処理方法 ・真竹 (良質な2年生以上)	※加圧式防蝕処理 ④ 図示			(23. 3. 2)
⑤ 幹巻き用材料	※幹巻き用テープ	・わら及びこも			(23. 3. 2)
⑥ 芝張り	種類 工法	※コウライシバ ④ノシバ (図面による) ④目地張り ・べた張り			(23. 4. 2. 3)
7 吹付けは種用種子等	※洋芝類 (採集後2年以内)	・			(23. 4. 2)
⑧ 地被類	※コンテナ栽培品 (種類等・図面による)				(23. 4. 2)
9 屋上緑化	植栽基盤 ・屋上緑化システム 土壌層の厚さ 排水層 植込み用土 ・屋上緑化軽量システム	・図示 ・ ・軽量骨材 (層の厚さ) ・改良土 ・人工軽量土			(23. 5. 2. 3)
	樹木等及びその他材料 樹木の種類、寸法、株立数、数量等 芝及び地被類の種類等 見切り材、舗装材、水抜き管、マルティング材等	※図示 ・ ※図示 ・ ※図示 ・			(23. 5. 3)
	工法 支柱 かん水装置	・設置する (形式 ・図示 ・) ・設置する (種類： (工事区分は図示による)			(23. 5. 4)

(H5.9.15川澄1852-1分筆に伴い修正)
世界測地系（測地成果2011）

施工年度	令和 4年度
工事名	道の駅グランドスフィア 拡張整備 実施設計等業務
路河川名	
工事箇所	筑西市川澄地内
図面種別	用地平面図
縮尺	1/500
図面番号	全 葉の内 号 (/)
表示内容	～

Y=14150

Y=14200

Y=14250

Y=14300

Y=14150

Y=14200

Y=14250

Y=14300

X=35700

X=35750

X=35800

X=35850

X=35900

X=35950

X=36000

X=36050

縮尺 1/250

縮尺 1/500

縮尺 1/1000

縮尺 1/2000

縮尺 1/4000

縮尺 1/8000

縮尺 1/16000

縮尺 1/32000

縮尺 1/64000

縮尺 1/128000

縮尺 1/256000

縮尺 1/512000

縮尺 1/1024000

縮尺 1/2048000

縮尺 1/4096000

縮尺 1/8192000

縮尺 1/16384000

縮尺 1/32768000

縮尺 1/65536000

縮尺 1/131072000

縮尺 1/262144000

縮尺 1/524288000

縮尺 1/1048576000

縮尺 1/2097152000

縮尺 1/4194304000

縮尺 1/8388608000

縮尺 1/16777216000

縮尺 1/33554432000

縮尺 1/67108864000

縮尺 1/134217728000

縮尺 1/268435456000

縮尺 1/536870912000

縮尺 1/1073741824000

縮尺 1/2147483648000

縮尺 1/4294967296000

縮尺 1/8589934592000

縮尺 1/17179869184000

縮尺 1/34359738368000

縮尺 1/68719476736000

縮尺 1/137438953472000

縮尺 1/274877906944000

縮尺 1/549755813888000

縮尺 1/1099511627776000

縮尺 1/2199023255552000

縮尺 1/4398046511104000

縮尺 1/8796093022208000

縮尺 1/17592186044416000

縮尺 1/35184372088832000

縮尺 1/70368744177664000

縮尺 1/140737488355328000

縮尺 1/281474976710656000

縮尺 1/562949953421312000

縮尺 1/1125899906842624000

縮尺 1/2251799813685248000

縮尺 1/4503599627370496000

縮尺 1/9007199254740992000

縮尺 1/18014398509481984000

縮尺 1/36028797018963968000

縮尺 1/72057594037927936000

縮尺 1/144115188075855872000

縮尺 1/288230376151711744000

縮尺 1/576460752303423488000

縮尺 1/1152921504606846976000

縮尺 1/2305843009213693952000

縮尺 1/4611686018427387904000

縮尺 1/9223372036854775808000

縮尺 1/18446744073709551616000

縮尺 1/36893488147419103232000

縮尺 1/73786976294838206464000

縮尺 1/147573952589676412928000

縮尺 1/295147905179352825856000

縮尺 1/590295810358705651712000

縮尺 1/1180591620717411303424000

縮尺 1/2361183241434822606848000

縮尺 1/4722366482869645213696000

縮尺 1/9444732965739290427392000

縮尺 1/18889465931478580854784000

縮尺 1/37778931862957161709568000

縮尺 1/75557863725914323419136000

縮尺 1/151115727451828646838272000

縮尺 1/302231454903657293676544000

縮尺 1/604462909807314587353088000

縮尺 1/1208925819614629174706176000

縮尺 1/2417851639229258349412352000

縮尺 1/4835703278458516698824704000

縮尺 1/9671406556917033397649408000

縮尺 1/19342813113834066795298816000

縮尺 1/38685626227668133590597632000

縮尺 1/77371252455336267181195264000

縮尺 1/154742504910672534362390528000

縮尺 1/309485009821345068724781056000

縮尺 1/618970019642690137449562112000

縮尺 1/1237940039285380274899124224000

縮尺 1/2475880078570760549798248448000

縮尺 1/495

	申請部分	申請以外の部分	合 計	敷地面積に対する割合	その他
建築面積	1,424.22㎡ (= 430.83坪)	㎡	1,424.22㎡ (= 430.83坪)	4.57%	地階の住宅又は老人ホーム等の部分 エレベーターの見舞廊部分 共同住宅又は老人ホーム等の共用の廊下等の部分 自動車庫等の部分 備置倉庫の設置部分 遊楽場・自家発電設備の設置部分 貯水場の設置部分 宅配ボックスの設置部分 住宅の部分 老人ホーム等の部分
延床面積	1,004.77㎡ (= 303.94坪)	㎡	1,004.77㎡ (= 303.94坪)	2.70%	(容積率対象面積：840.52㎡による)

建物名称	申請建物① 雲の屋根	申請建物② トイレ棟	申請建物③ 管理棟	申請建物④ すじ雲コリドー	申請建物⑤ 思いやり駐車場屋根	申請建物⑥ 雲のあずまや-1	申請建物⑦ 雲のあずまや-2	計
構造	鉄骨造	鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造	鉄骨造	鉄骨造	木造	木造	
規模	平屋建て	平屋建て	平屋建て	平屋建て	平屋建て	平屋建て	平屋建て	
用途	建築 子どもの遊び場施設 (スロープ施設)	建築 公共便所	建築 事務所	建築 歩廊	建築 自動車庫	建築 休憩施設(あずまや)	建築 休憩施設(あずまや)	
防火要求	開放的簡易建築物 延焼防止、全周防煙、煙出口	開放的簡易建築物 その他建築物	開放的簡易建築物 その他建築物	開放的簡易建築物 その他建築物	開放的簡易建築物 延焼防止、全周防煙、煙出口	開放的簡易建築物 その他建築物	開放的簡易建築物 その他建築物	
最高軒高	4.79m	3.67m	3.14m	3.01m	2.65m	3.20m	3.20m	
最高高さ	8.15m	3.95m	3.37m	5.20m	3.57m	3.53m	3.53m	
建築面積	688.35㎡	124.65㎡	28.29㎡	284.53㎡	222.00㎡	30.17㎡	30.17㎡	1,408.16㎡
延床面積	611.18㎡	124.65㎡	28.29㎡	0.00㎡	164.25㎡	30.17㎡	30.17㎡	988.71㎡
施工面積	794.34㎡	124.65㎡	28.29㎡	439.87㎡	222.00㎡	30.17㎡	30.17㎡	1,669.49㎡

建物名称	申請建物⑧ ゴミ庫	申請建物⑨ 喫煙所上屋	合 計
構造	鉄骨造	アルミニウム合金造	
規模	平屋建て	平屋建て	
用途	建築 倉庫(ゴミ庫)	建築 休憩所 上屋	
防火要求	その他建築物	その他建築物	
最高軒高	-m	-m	
最高高さ	2.48m	2.40m	
建築面積	8.02㎡	8.04㎡	1,424.22㎡
延床面積	8.02㎡	8.04㎡	1,004.77㎡
施工面積	8.02㎡	8.04㎡	1,685.55㎡

申請建物①：雲の屋根
設計GL=KBM.3+650(36.7)
鉄骨造 平屋建
最高高さ：8.15m
最高軒高：4.79m

申請建物②：トイレ棟
設計GL=KBM.3+450(36.5)
RC造 平屋建
最高高さ：3.95m
最高軒高：3.67m

申請建物③：管理棟
設計GL=KBM.3+450(36.5)
RC造 平屋建
最高高さ：3.37m
最高軒高：3.14m

申請建物④：すじ雲コリドー
設計GL=KBM.3-1050(35.0)
鉄骨造 平屋建
最高高さ：5.20m
最高軒高：3.01m

申請建物⑤：思いやり駐車場屋根
設計GL=KBM.3+650(36.7)
鉄骨造 平屋建
最高高さ：3.57m
最高軒高：2.65m

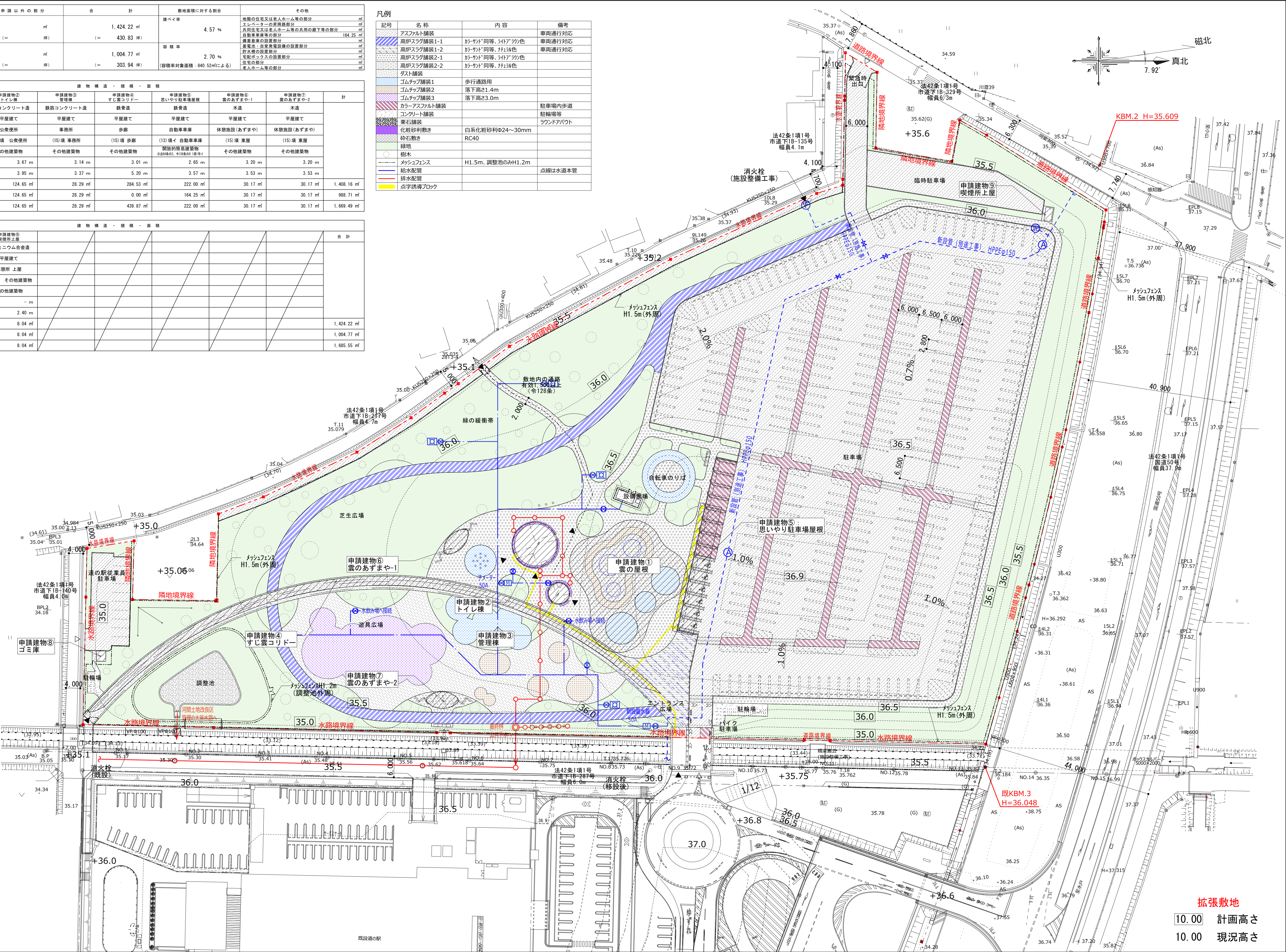
申請建物⑥：雲のあずまや-1
設計GL=KBM.3+250(36.3)
木造 平屋建
最高高さ：3.53m
最高軒高：3.20m

申請建物⑦：雲のあずまや-2
設計GL=KBM.3-450(35.6)
木造 平屋建
最高高さ：3.53m
最高軒高：3.20m

申請建物⑧：ゴミ庫
設計GL=KBM.3+950(35.1)
鉄骨造 平屋建
最高高さ：2.48m
最高軒高：-

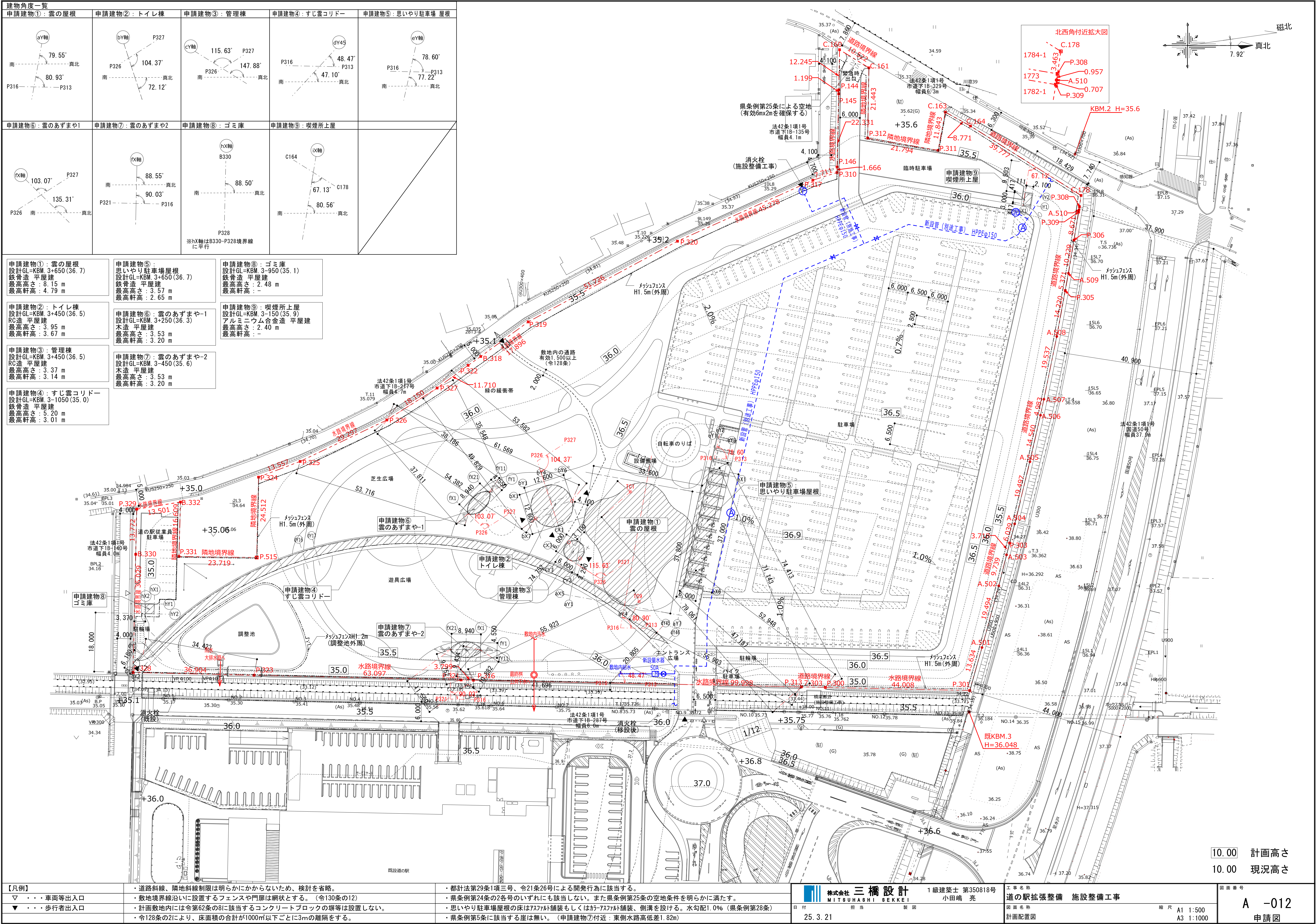
申請建物⑨：喫煙所上屋
設計GL=KBM.3-150(35.9)
アルミニウム合金造 平屋建
最高高さ：2.40m
最高軒高：-

記号	名称	内容	備考
1-1	高炉スラグ舗装1-1	カーサド'同等、ライバ'30%色	車両通行対応
1-2	高炉スラグ舗装1-2	カーサド'同等、ライバ'30%色	車両通行対応
2-1	高炉スラグ舗装2-1	カーサド'同等、ライバ'30%色	
2-2	高炉スラグ舗装2-2	カーサド'同等、ライバ'30%色	
3	ゴムチップ舗装3	落下高さ3.0m	駐車場内歩道
4	カラーアスファルト舗装		駐輪場等
5	コンクリート舗装		ランドアパワ
6	東石舗装		
7	化粧砂利敷き	白系化粧砂利φ24~30mm	
8	砕石敷き	RC40	
9	緑地		
10	樹木		
11	メッシュフェンス	H1.5m、調整池のみH1.2m	
12	給水配管		点線は水道本管
13	排水配管		
14	点字誘導ブロック		

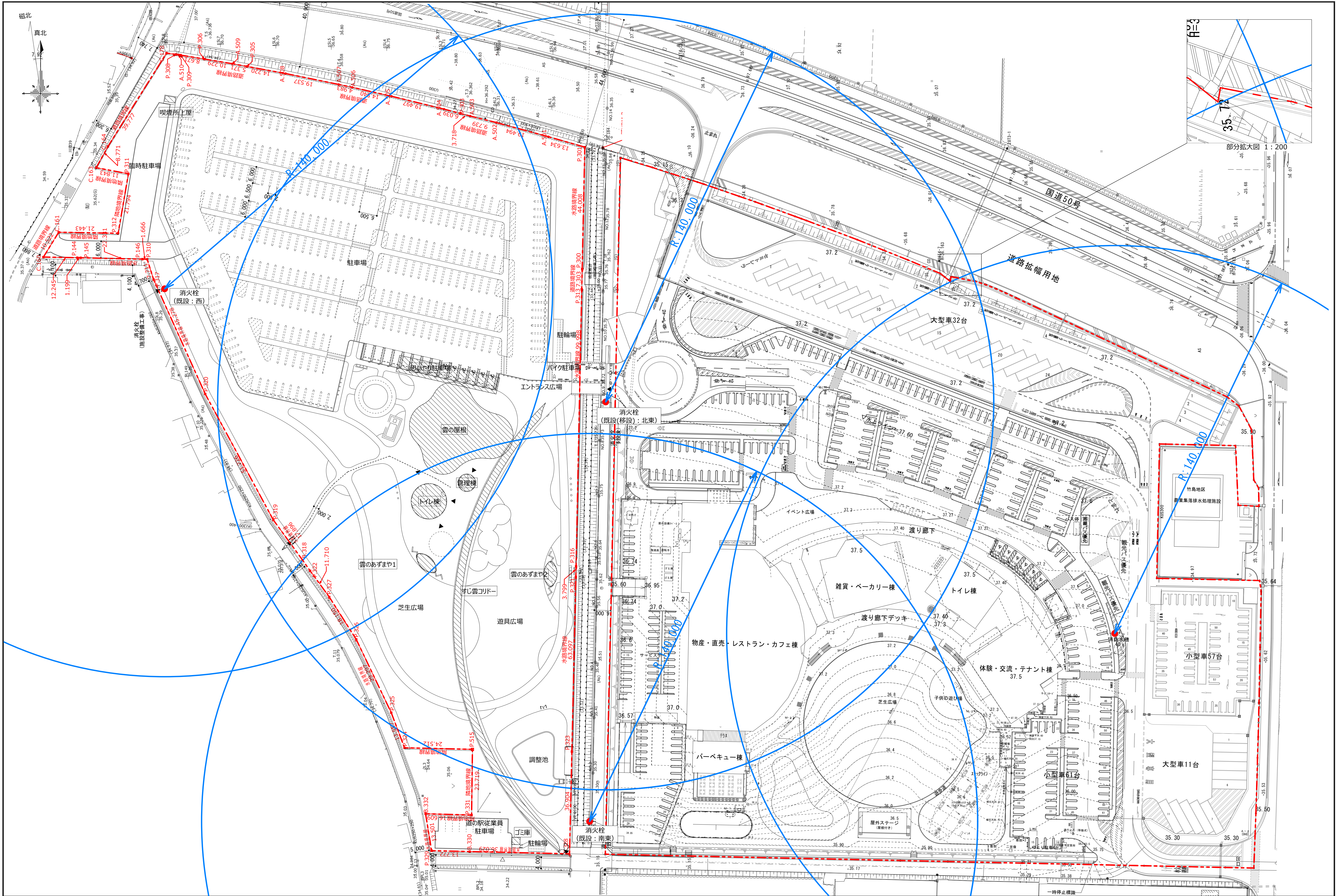


建物角度一覧				
申請建物①：雲の屋根	申請建物②：トイレ棟	申請建物③：管理棟	申請建物④：すじ雲コリドー	申請建物⑤：思いやり駐車場 屋根
申請建物⑥：雲のあずまや1	申請建物⑦：雲のあずまや2	申請建物⑧：ゴミ庫	申請建物⑨：喫煙所上屋	

申請建物①：雲の屋根 設計GL=KBM.3+650(36.7) 鉄骨造 平屋建 最高高さ：8.15 m 最高軒高：4.79 m	申請建物⑤：思いやり駐車場屋根 設計GL=KBM.3+650(36.7) 鉄骨造 平屋建 最高高さ：3.57 m 最高軒高：2.65 m	申請建物⑧：ゴミ庫 設計GL=KBM.3-950(35.1) 鉄骨造 平屋建 最高高さ：2.48 m 最高軒高：-
申請建物②：トイレ棟 設計GL=KBM.3+450(36.5) RC造 平屋建 最高高さ：3.95 m 最高軒高：3.67 m	申請建物⑥：雲のあずまや-1 設計GL=KBM.3+250(36.3) 木造 平屋建 最高高さ：3.53 m 最高軒高：3.20 m	申請建物⑨：喫煙所上屋 設計GL=KBM.3-150(35.9) アルミニウム合金造 平屋建 最高高さ：2.40 m 最高軒高：-
申請建物③：管理棟 設計GL=KBM.3+450(36.5) RC造 平屋建 最高高さ：3.37 m 最高軒高：3.14 m	申請建物⑦：雲のあずまや-2 設計GL=KBM.3-450(35.6) 木造 平屋建 最高高さ：3.53 m 最高軒高：3.20 m	
申請建物④：すじ雲コリドー 設計GL=KBM.3-1050(35.0) 鉄骨造 平屋建 最高高さ：5.20 m 最高軒高：3.01 m		



【凡例】			株式会社 三橋設計 MITSUHASHI SEKKEI		1級建築士 第350818号 小田嶋 亮	工事名称 道の駅拡張整備 施設整備工事	図面番号 A -012 申請図
▽・・・車両等出入口	・道路斜線、隣地斜線制限は明らかにできないため、検討を省略。	・都計法第29条1項三号、令21条26号による開発行為に該当する。	日付	担当	製図	図面名称 計画配置図	縮尺 A1 1:500 A3 1:1000
▼・・・歩行者出入口	・敷地境界線沿いに設置するフェンスや門扉は網状とする。（令130条の12）	・県条例第24条の2各号のいずれにも該当しない。また県条例第25条の空地条件を明らかに満たす。	25.3.21				
	・計画敷地内には令第62条の8に該当するコンクリートブロックの塀等は設置しない。	・思いやり駐車場屋根の床はアスファルト舗装もしくはカーアスファルト舗装、側溝を設ける。水勾配1.0%（県条例第28条）					
	・令128条の2により、床面積の合計が1000㎡以下ごとに3mの離隔をする。	・県条例第5条に該当する崖は無い。（申請建物⑦付近：東側水路高低差1.82m）					



筑西市川澄

座標求積表

字 名	筑西市川澄字稲荷宿東		
地 番	登 記 地 目	現 況 地 目	
1784-1	田	雑種地	
登 記 地 積	1101 m ²		
所 有 者	筑西市		
住 所			
名 称	X	Y	辺 長
C.160	35950.849	14118.465	12.245
P.144	35950.566	14130.707	1.199
P.145	35950.534	14131.906	22.331
P.146	35949.955	14154.230	74.854
P.308	36023.777	14166.618	3.463
C.178	36024.284	14163.192	39.777
C.164	35990.679	14141.910	8.771
C.163	35983.020	14137.634	11.643
P.311	35980.776	14149.263	21.794
P.312	35989.315	14145.464	21.443
C.161	35959.782	14124.026	10.522
面 積	1102.5145980 m ²		
地 積	1102 m ²		

字 名	筑西市川澄町稲荷宿東		
地 番	登 記 地 目	現 況 地 目	
1780-1	田	田	
登 記 地 積	4882 m ²		
所 有 者	筑西市		
住 所			
名 称	X	Y	辺 長
B.302	35946.924	14267.625	55.159
P.303	36002.065	14269.052	6.039
A.504	36003.632	14263.219	19.497
A.505	36008.361	14244.304	14.540
A.506	36011.645	14230.139	4.963
A.507	36012.704	14225.269	19.537
A.508	36016.708	14206.146	14.220
P.305	36019.345	14192.172	70.379
P.304	35948.991	14190.295	77.357
面 積	4895.2727665 m ²		
地 積	4895 m ²		

字 名		筑西市川澄字稲荷宿東	
地 番	登 記 地 目	現 況 地 目	
1794	田	田	
登 記 地 積	2500 m ²		
所 有 者	筑西市		
住 所			
名 称	X	Y	辺 長
P.314	35939.078	14287.646	99.998
P.315	35839.110	14285.191	24.998
P.316	35838.439	14310.180	99.998
P.313	35938.407	14312.636	24.999
面 積	2499.7979765 m ²		
地 積	2499 m ²		

字 名		筑西市川澄字稲荷宿東	
地 番	登 記 地 目	現 況 地 目	
1852-2	田	宅地	
登 記 地 積	200 m ²		
所 有 者	筑西市		
住 所			
名 称	X	Y	辺 長
B.330	35735.644	14271.382	13.772
P.329	35736.011	14257.614	13.501
B.332	35749.346	14255.503	16.609
P.331	35748.811	14272.104	13.186
面 積	200.8965900 m ²		
地 積	200 m ²		

地 名		筑西市川澄字稲荷宿東	
地 番	登 記 地 目	現 況 地 目	
1851	田	田	
登 記 地 積	4797 m ²		
所 有 者	筑西市		
住 所			
名 称	X	Y	辺 長
P.322	35837.212	14214.202	11.710
P.327	35827.734	14221.079	18.150
P.326	35812.377	14230.753	29.297
P.325	35785.886	14243.265	13.557
P.324	35773.184	14246.006	60.397
P.323	35771.566	14308.382	63.097
P.321	35834.641	14310.080	95.912
面 積	4797.7357330 m ²		
地 積	4797 m ²		

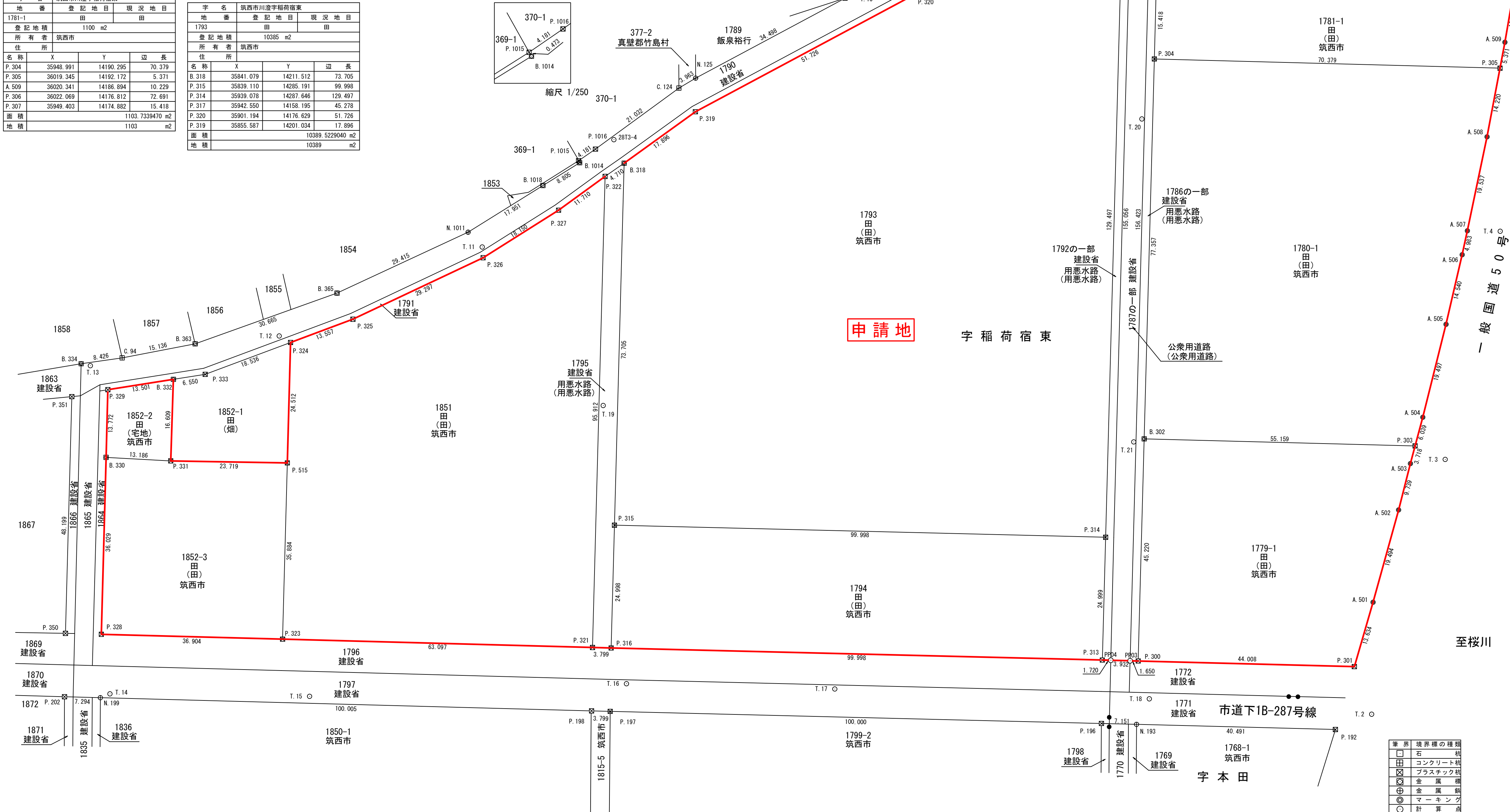
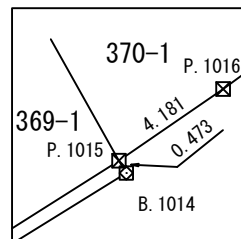
字 名		筑西市川澄字稲荷宿東	
地 番	登 記 地 目	現 況 地 目	
1852-3	田	田	
登 記 地 積	1320 m ²		
所 有 者	筑西市		
住 所			
名 称	X	Y	辺 長
P.328	35734.675	14307.398	36.904
P.323	35771.566	14308.382	35.884
P.515	35772.527	14272.510	23.719
P.331	35748.811	14272.104	13.186
B.330	35735.644	14271.382	36.029
面 積	1320.9967930 m ²		
地 積	1320.99 m ²		

字 名		筑西市川澄字稲荷宿東	
地 番	登 記 地 目	現 況 地 目	
1782-1	田	田	
登 記 地 積	1011 m ²		
所 有 者		筑西市	
住 所			
名 称	X	Y	辺 長
P.307	35949.403	14174.882	72.691
P.306	36022.069	14176.812	8.671
P.309	36023.529	14168.264	74.649
P.310	35949.911	14155.896	18.992
面 積	1013.9805300 m ²		
地 積	1013 m ²		

字 名	筑西市川澄字稲荷宿東		
地 番	登 記 地 目	現 況 地 目	
1779-1	田	田	
登 記 地 積	2240 m ²		
所 有 者	筑西市		
住 所			
名 称	X	Y	辺 長
P.300	35945.708	14312.829	44.008
P.301	35989.702	14313.966	13.634
A.501	35993.510	14300.874	19.494
A.502	35998.704	14282.084	9.739
A.503	36001.113	14272.647	3.718
P.303	36002.065	14269.052	55.159
B.302	35946.924	14267.625	45.220
面 積	2248.8598540 m ²		
地 積	2248 m ²		

字 名		筑西市川澄字稲荷宿東	
地 番	登 記 地 目	現 況 地 目	
1781-1	田	田	
登 記 地 積	1100 m ²		
所 有 者	筑西市		
住 所			
名 称	X	Y	辺 長
P.304	35948.991	14190.295	70.379
P.305	36019.345	14192.172	5.371
A.509	36020.341	14186.894	10.229
P.306	36022.069	14176.812	72.691
P.307	35949.403	14174.882	15.418
面 積	1103.7339470 m ²		
地 積	1103 m ²		

字 名	筑西市川澄字稲荷宿東		
地 番	登 記 地 目	現 況 地 目	
1793	田	田	
登 記 地 積	10385 m2		
所 有 者	筑西市		
住 所			
名 称	X	Y	辺 長
B.318	35841.079	14211.512	73.705
P.315	35839.110	14285.191	99.998
P.314	35939.078	14287.646	129.497
P.317	35942.550	14158.195	45.278
P.320	35901.194	14176.629	51.726
P.319	35855.587	14201.034	17.896
面 積	10389.5229040 m2		
地 積	10389 m2		



座標求積表

字 名	筑西市川澄字稲荷宿東		
地 番	登 記 地 目	現 況 地 目	
1773の一部	用悪水路	用悪水路	
登 記 地 積	467 m ²		
所 有 者	建設省		
住 所			
名 称	X	Y	辺 長
P.310	35949.911	14155.896	1.666
P.146	35949.955	14154.230	74.854
P.308	36023.777	14166.618	0.957
A.510	36023.646	14167.566	0.707
P.309	36023.529	14168.264	74.649
面 積	123.8972470 m ²		
地 積	123 m ²		

筑西市川澄字稲荷宿東			
地 番	登 記 地 目	現 況 地 目	
1786の一部	用悪水路	用悪水路	
登 記 地 積	320 m ²		
所 有 者	建設省		
住 所			
名 称	X	Y	辺 長
PP02	35948.243	14156.417	1.747
P.310	35949.911	14155.896	18.992
P.307	35949.403	14174.882	15.418
P.304	35948.991	14190.295	77.357
B.302	35946.924	14267.625	45.220
P.300	35945.708	14312.829	1.650
PP03	35944.058	14312.785	156.423
面 積	259.2777490 m ²		
地 積	259 m ²		

字 名	筑西市川澄字稲荷宿東		
地 番	登 記 地 目	現 況 地 目	
1787の一部	公共用道路	公共用道路	
登 記 地 積	800 m ²		
所 有 者	建設省		
住 所	X		
名 称	Y	辺 長	
PP01	35944.215	14157.675	4.219
PP02	35948.243	14156.417	156.423
PP03	35944.058	14312.785	3.932
PP04	35940.127	14312.678	155.056
面 積	617.1698919 m ²		
地 積	617 m ²		

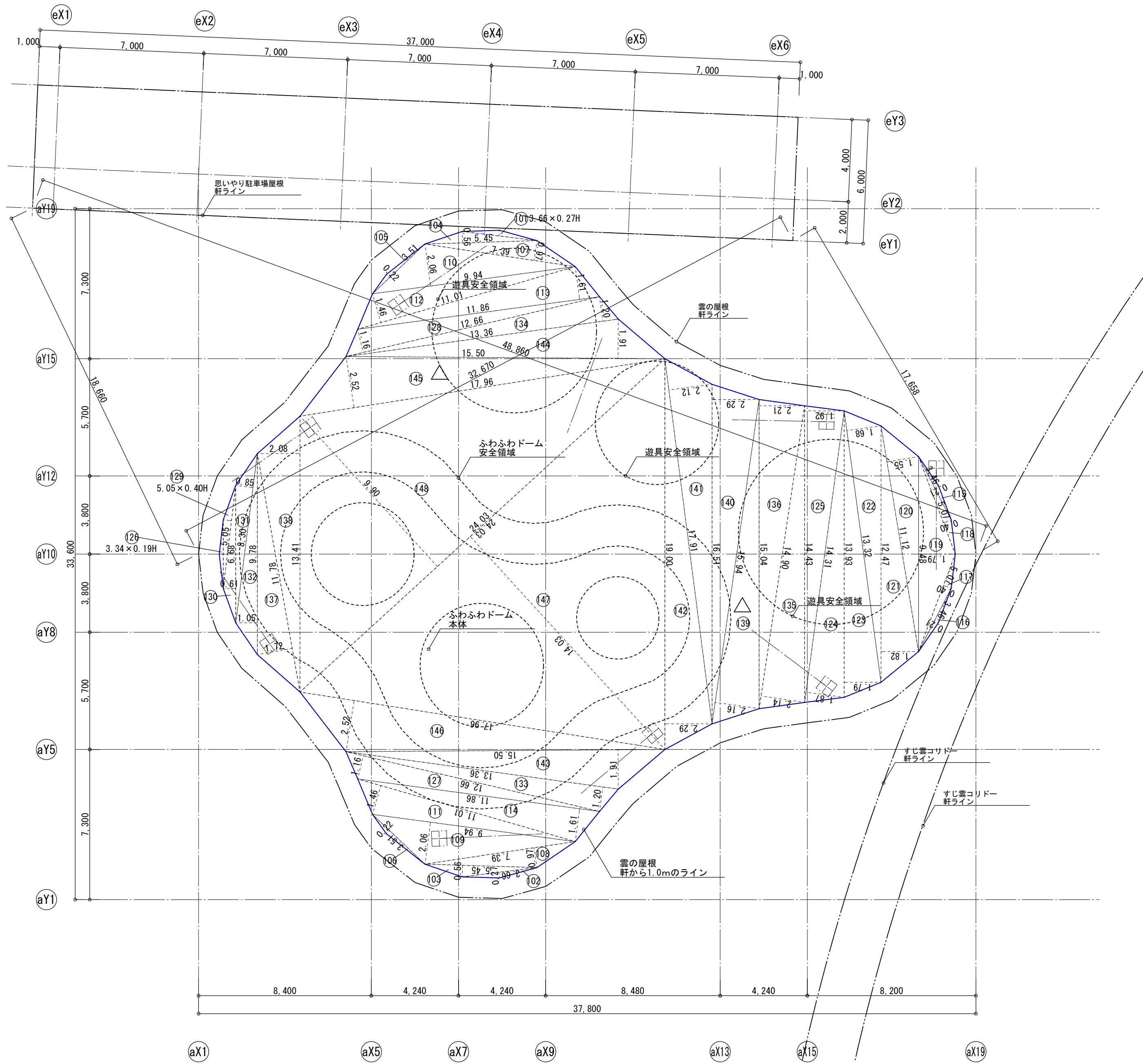
字 名		筑西市川澄字稲荷宿東	
地 番	登 記 地 目	現 況 地 目	
1792の一部	用悪水路	用悪水路	
登 記 地 積	255 m ²		
所 有 者	建設省		
住 所			
名 称	X	Y	辺 長
P.317	35942.550	14158.195	1.744
PP01	35944.215	14157.675	155.056
PP04	35940.127	14312.678	1.720
P.313	35938.407	14312.636	24.999
P.314	35939.078	14287.646	129.497
面 積	260.8352100 m ²		
地 積	260 m ²		

字 名		筑西市川澄字稲荷宿東	
地 番	登 記 地 目	現 況 地 目	
1795	用悪水路	用悪水路	
登 記 地 積	369 m ²		
所 有 者	建設省		
住 所			
名 称	X	Y	辺 長
P.322	35837.212	14214.202	4.710
B.318	35841.079	14211.512	73.705
P.315	35839.110	14285.191	24.998
P.316	35838.439	14310.180	3.799
P.321	35834.641	14310.080	95.912
面 積	369.5422840 m ²		
地 積	369 m ²		

開発区域の土地明細表

土地の所在			地 番	地 目	面積（㎡）		所有者
市町村	大字	字			地積	実測面積	
筑西市	川澄	稲荷宿東1779番1		田	2240	2,248.85	筑西市
筑西市	川澄	稲荷宿東1780番1		田	4882	4,895.27	筑西市
筑西市	川澄	稲荷宿東1781番1		田	1100	1,103.73	筑西市
筑西市	川澄	稲荷宿東1782番1		田	1011	1,013.98	筑西市
筑西市	川澄	稲荷宿東1784番1		田	1101	1,102.51	筑西市
筑西市	川澄	稲荷宿東1793番		田	10385	10,389.52	筑西市
筑西市	川澄	稲荷宿東1794番		田	2500	2,499.79	筑西市
筑西市	川澄	稲荷宿東1851番		田	4797	4,797.73	筑西市
筑西市	川澄	稲荷宿東1852番2		田	200	200.89	筑西市
筑西市	川澄	稲荷宿東1852番3		田	1320	1,320.99	筑西市
筑西市	川澄	稲荷宿東1773番の一部		用悪水路	467	123.89	建設省
筑西市	川澄	稲荷宿東1795番		用悪水路	369	369.54	建設省
筑西市	川澄	稲荷宿東1786番の一部		用悪水路	320	259.27	建設省
筑西市	川澄	稲荷宿東1787番の一部		公衆用道路	800	617.16	建設省
筑西市	川澄	稲荷宿東1792番の一部		用悪水路	255	260.83	建設省
合 計						31,203.95	

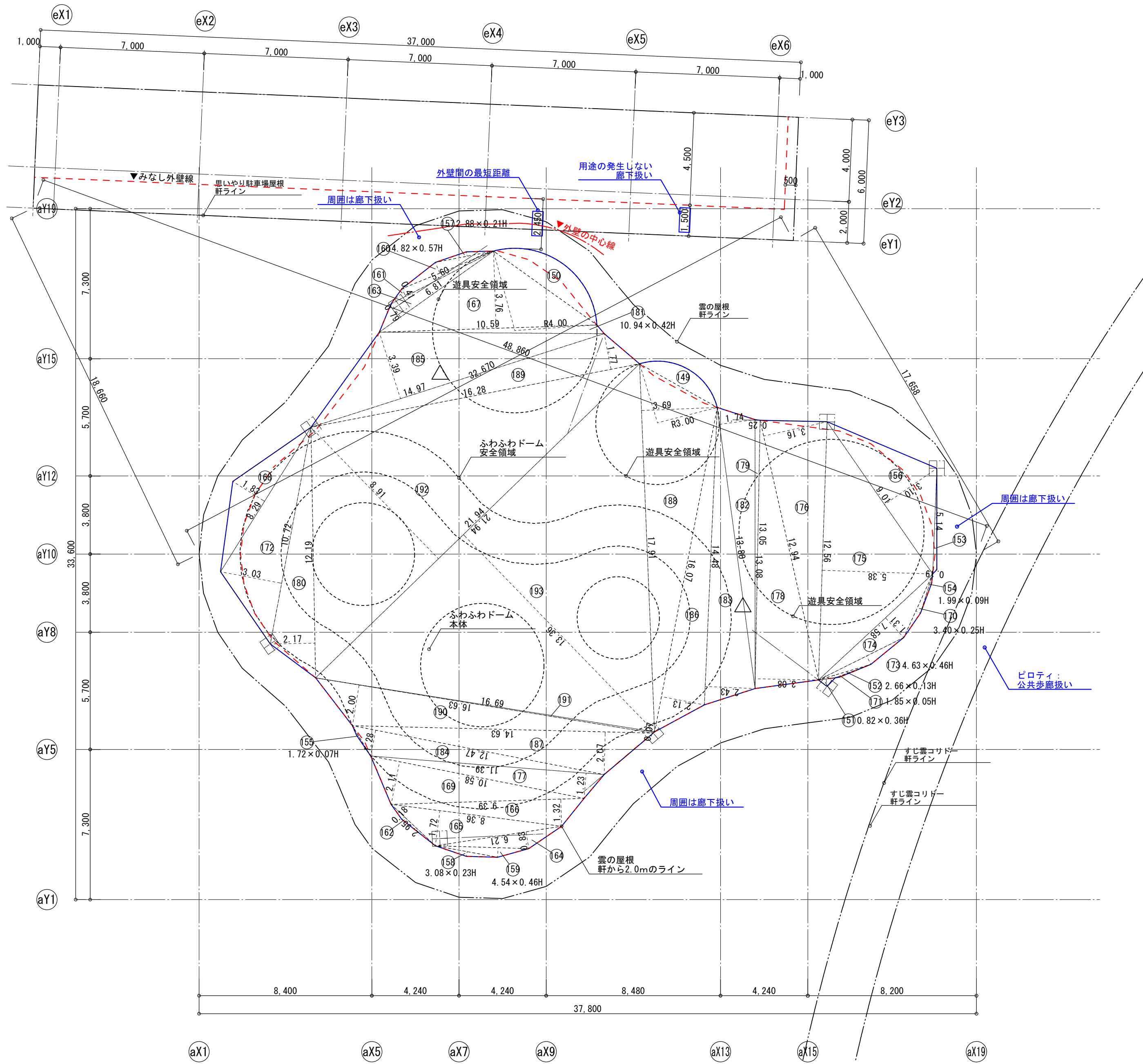
世界測地系（測地成果2011）



建築面積算定図 ※建築面積の算定は法第92条、令第2条第1項第2号、平5建告第1437号による。

記号	計算式 (m)	面積 (㎡)	記号	計算式 (m)	面積 (㎡)	記号	計算式 (m)	面積 (㎡)
101	$3.66 \times 0.27 \div 2$	0.49	121	$12.47 \times 1.82 \div 2$	11.35	141	$17.91 \times 2.12 \div 2$	18.98
102	$3.66 \times 0.27 \div 2$	0.49	122	$13.32 \times 1.68 \div 2$	11.19	142	$19.00 \times 2.29 \div 2$	21.76
103	$5.45 \times 0.56 \div 2$	1.53	123	$13.93 \times 1.79 \div 2$	12.47	143	$15.50 \times 1.91 \div 2$	14.80
104	$5.45 \times 0.56 \div 2$	1.53	124	$14.31 \times 1.87 \div 2$	13.38	144	$15.50 \times 1.91 \div 2$	14.80
105	$3.51 \times 0.22 \div 2$	0.39	125	$14.43 \times 1.92 \div 2$	13.85	145	$17.96 \times 2.52 \div 2$	22.63
106	$3.51 \times 0.22 \div 2$	0.39	126	$3.34 \times 0.19 \div 2$	0.32	146	$17.96 \times 2.52 \div 2$	22.63
107	$7.39 \times 0.97 \div 2$	3.58	127	$12.66 \times 1.16 \div 2$	7.34	147	$24.03 \times 14.03 \div 2$	168.57
108	$7.39 \times 0.97 \div 2$	3.58	128	$12.66 \times 1.16 \div 2$	7.34	148	$24.03 \times 9.90 \div 2$	118.95
109	$9.94 \times 2.06 \div 2$	10.24	129	$5.05 \times 0.40 \div 2$	1.01			
110	$9.94 \times 2.06 \div 2$	10.24	130	$6.68 \times 0.61 \div 2$	2.04			
111	$11.01 \times 1.46 \div 2$	8.04	131	$8.30 \times 0.85 \div 2$	3.53			
112	$11.01 \times 1.46 \div 2$	8.04	132	$9.78 \times 1.05 \div 2$	5.13			
113	$11.86 \times 1.61 \div 2$	9.55	133	$13.36 \times 1.20 \div 2$	8.02			
114	$11.86 \times 1.61 \div 2$	9.55	134	$13.36 \times 1.20 \div 2$	8.02			
115	$3.46 \times 0.21 \div 2$	0.36	135	$14.90 \times 2.14 \div 2$	15.94			
116	$3.46 \times 0.21 \div 2$	0.36	136	$15.04 \times 2.21 \div 2$	16.62			
117	$5.07 \times 0.40 \div 2$	1.01	137	$11.78 \times 1.72 \div 2$	10.13			
118	$5.07 \times 0.40 \div 2$	1.01	138	$13.41 \times 2.08 \div 2$	13.95			
119	$9.48 \times 1.79 \div 2$	8.48	139	$15.94 \times 2.16 \div 2$	17.22			
120	$11.12 \times 1.55 \div 2$	8.62	140	$16.51 \times 2.29 \div 2$	18.90			
合計面積								688.35

※ □ は支承位置を示す。
△ は消火設備用支持材位置を示す。
----- は遊具の配置と安全領域を示す。
--- は雲の屋根の屋根先端を示す。
--- は屋根先端からセットバックした位置を示す。



床面積算定図

記号	計算式 (m)	面積 (㎡)	記号	計算式 (m)	面積 (㎡)	記号	計算式 (m)	面積 (㎡)
149	$0.5 \times (3.00 \times 3.00 \times 92.45 \times \pi \div 180 - 3.00 \times 3.00 \times \sin(92.45 \times \pi \div 180))$	2.77	169	$10.58 \times 2.11 \div 2$	11.16	189	$16.28 \times 1.77 \div 2$	14.41
150	$0.5 \times (4.00 \times 4.00 \times 101.10 \times \pi \div 180 - 4.00 \times 4.00 \times \sin(101.10 \times \pi \div 180))$	6.27	170	$3.40 \times 0.25 \div 2$	0.43	190	$16.63 \times 2.00 \div 2$	16.63
151	$0.82 \times 0.36 \div 2$	0.15	171	$2.66 \times 0.13 \div 2$	0.17	191	$16.69 \times 0.07 \div 2$	0.58
152	$1.85 \times 0.05 \div 2$	0.05	172	$10.72 \times 3.03 \div 2$	16.24	192	$21.94 \times 8.91 \div 2$	97.74
153	$5.14 \times 0.19 \div 2$	0.49	173	$4.63 \times 0.46 \div 2$	1.06	193	$21.94 \times 13.36 \div 2$	146.56
154	$1.99 \times 0.09 \div 2$	0.09	174	$7.58 \times 1.31 \div 2$	4.96			
155	$1.72 \times 0.07 \div 2$	0.06	175	$12.56 \times 5.38 \div 2$	33.79			
156	$9.01 \times 3.10 \div 2$	13.97	176	$12.94 \times 3.16 \div 2$	20.45			
157	$2.88 \times 0.21 \div 2$	0.30	177	$11.39 \times 1.23 \div 2$	7.00			
158	$3.08 \times 0.23 \div 2$	0.35	178	$13.05 \times 3.08 \div 2$	20.10			
159	$4.54 \times 0.46 \div 2$	1.04	179	$13.08 \times 0.25 \div 2$	1.64			
160	$4.82 \times 0.57 \div 2$	1.37	180	$12.19 \times 2.17 \div 2$	13.23			
161	$5.60 \times 0.41 \div 2$	1.15	181	$10.94 \times 0.42 \div 2$	2.30			
162	$2.95 \times 0.18 \div 2$	0.27	182	$13.80 \times 1.74 \div 2$	12.01			
163	$6.81 \times 0.79 \div 2$	2.69	183	$14.48 \times 2.43 \div 2$	17.59			
164	$6.21 \times 0.83 \div 2$	2.58	184	$12.47 \times 1.28 \div 2$	7.98			
165	$8.36 \times 1.72 \div 2$	7.19	185	$14.97 \times 3.39 \div 2$	25.37			
166	$9.39 \times 1.32 \div 2$	6.20	186	$16.07 \times 2.13 \div 2$	17.11			
167	$10.59 \times 3.76 \div 2$	19.91	187	$14.63 \times 2.07 \div 2$	15.14			
168	$8.29 \times 1.83 \div 2$	7.59	188	$17.91 \times 3.69 \div 2$	33.04			
合計面積								611.18

雲の屋根 申請部分

延床面積	(149) ~ (193)	611.18
容積率算定延床面積		611.18
建築面積	(101) ~ (148)	688.35